

世界が 懸念 していること

2025年4月

世界が懸念していること

イプソスの「世界が懸念していること」調査では、世界29か国で現在最も重要な社会問題や政治問題は何であると考えているのかを調査し、最新のスコアとその背景を10年分のデータをもとに探ります。

このグローバルサマリーレポートでは、世界中で最も懸念されていることを、自国が正しい方向/間違った方向のどちらに進んでいるかという人々の意見と共にご紹介しています。

調査結果のさらなる分析は、
www.ipsos.com
でもご覧いただけます。

詳細については、
Teodros.Gebrekal@ipsos.com
までお問い合わせください。

=Report_1175

主な調査結果

01. インフレは依然として最大の懸念事項

生活費の高騰は、過去最長の期間にわたって主要な問題となっています。インフレは、2022年4月以降、1か月を除き毎月、最も大きな懸念事項となっています。しかしながら、その懸念の度合いは、29か国全体の平均で約3人に1人が懸念しているというレベルで頭打ちになっているようです。

02. ペルーにおける犯罪懸念の上昇

今月、犯罪と暴力が問題であると答えたペルー国民の割合は10ポイント上昇して4分の3(75%)となり、これは2016年10月(同じく75%)以来の最高値となっています。

03. ヨーロッパで高まる紛争の懸念

ヨーロッパ全域で軍事紛争への懸念が高まっており、特にフランスでは懸念があると答えた人が10ポイント増の25%と、最も増加しています。

04. トルコの汚職懸念

最近の抗議活動を背景に、トルコにおける政治・財政的腐敗を挙げる割合は11ポイント上昇して37%となり、2015年7月(42%)以来の最高値となっています。

05. 健康への関心の高まり

現在、5か国が医療を自国の主な懸念事項として挙げています(1月の3か国から増加)。それらの国は、ハンガリー(59%)、ポーランド(43%)、英国(39%)、イタリア(36%)、スペイン(31%)です。

06. 韓国の気候不安

韓国で気候変動を問題として挙げる人の割合は今月6ポイント上昇し、ちょうど5分の1強(22%)となっています。

世界が懸念していること 2025年4月

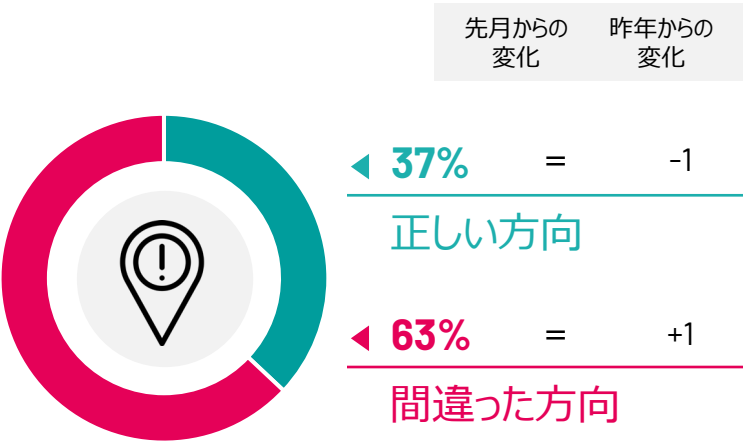
最も懸念していることトップ5

Q: 次の中から、あなたの国において最も懸念される事項を3つ選択してください。

		先月からの 変化	昨年からの 変化
インフレ	33%	=	-1
犯罪と暴力	32%	=	+2
貧困と社会的不平等	29%	=	-1
汚職、経済的・政治的スキャンダル	27%	+1	+1
失業率と雇用	27%	-1	=

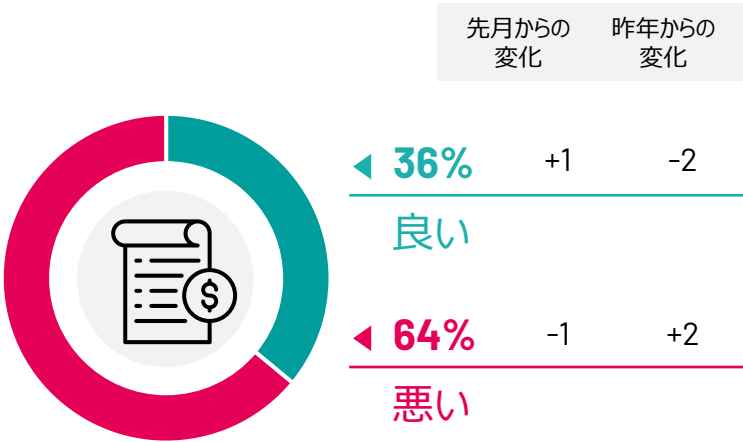
国の状況

Q: 全般的に見て、この国は正しい方向へ向かっていると思いますか、それとも間違った方向に向かっていると思いますか。



経済の状況

Q: 自国の現在の経済状況を表現するとしたら、当てはまるものはどれですか。



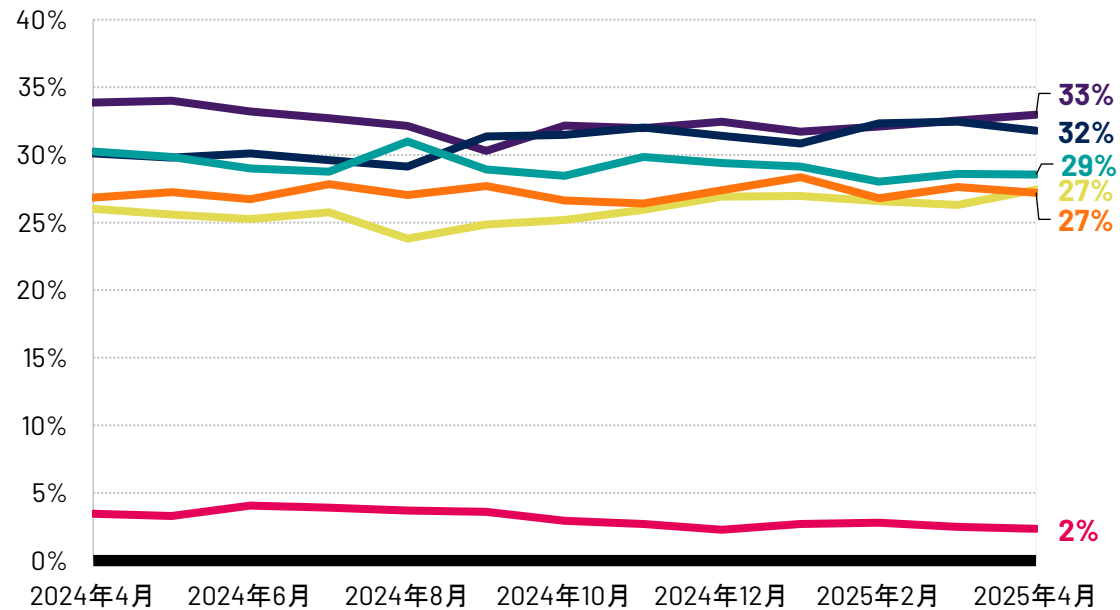
対象: 29か国の16歳から74歳までの25,219人の代表サンプル、2025年3月21日～2025年4月4日。
出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。フィルター: 国: 世界 | 現在のウェーブ: 2025年4月



世界が懸念していること 12か月のトレンド

最も懸念していることトップ5

Q: 次の中から、あなたの国において最も懸念される事項を3つ選択してください。



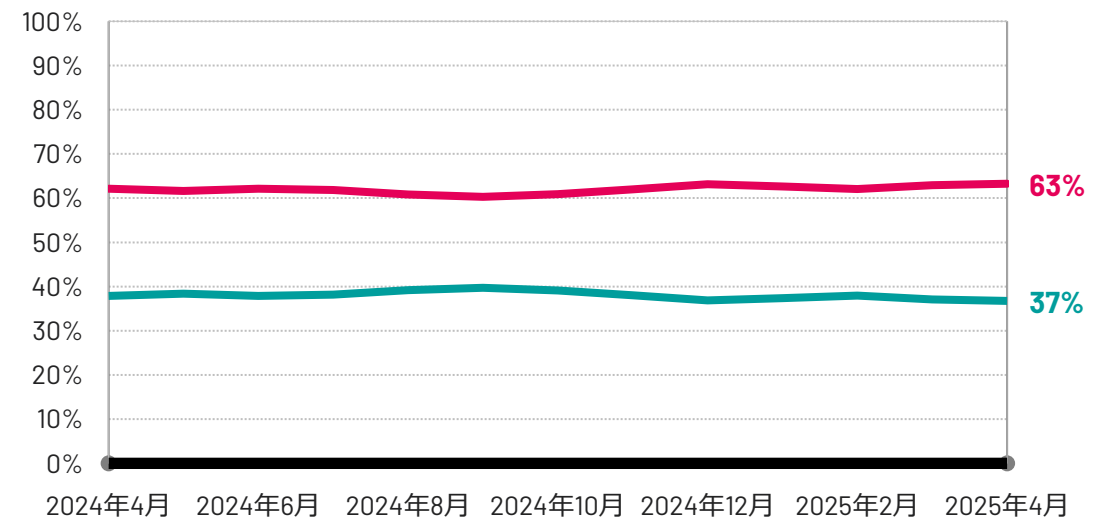
インフレ 犯罪 不平等 汚職 失業 コロナウイルス (Covid-19)

対象: 29か国の16歳から74歳までの25,219人の代表サンプル、2025年3月21日～2025年4月4日。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。フィルター: 国: 世界 | 現在のウェーブ: 2025年4月

国の状況

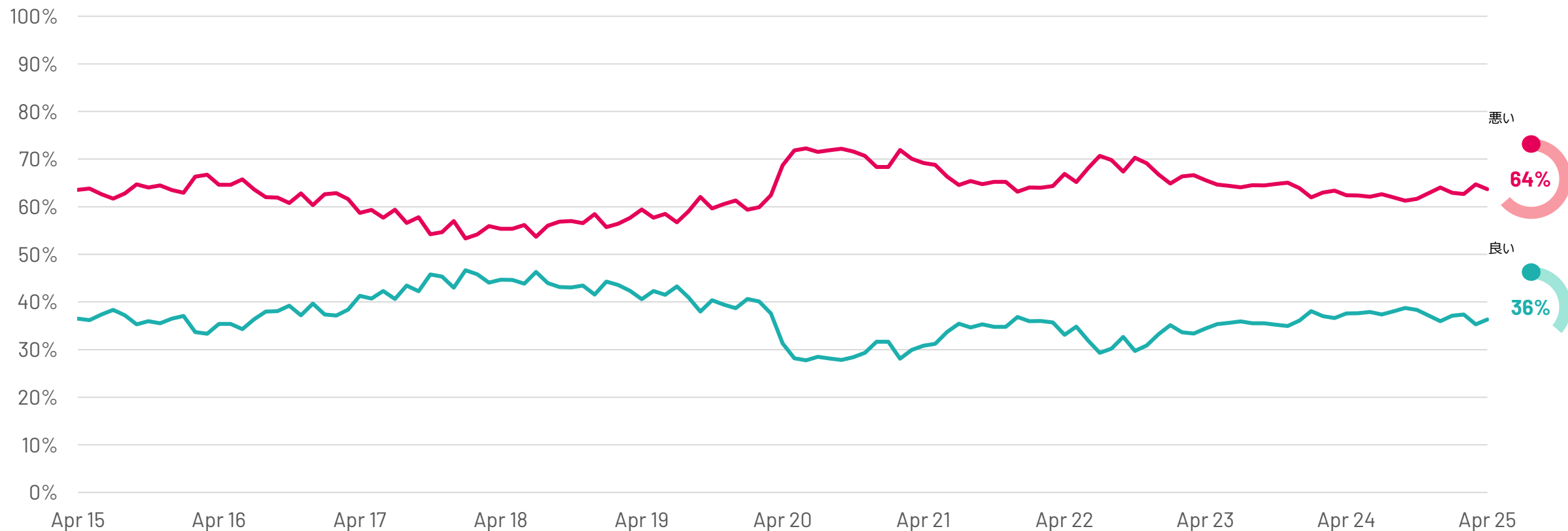
Q: 全般的に見て、この国は正しい方向へ向かっていると思いますか、それとも間違った方向に向かっていていると思いますか。



正しい方向 間違った方向

世界経済の現状

Q: 自国の現在の経済状況を表現するとしたら、当てはまるものはどれですか。
(「とても良い」または「やや良い」と「とても悪い」または「やや悪い」の割合)



対象: 29か国の16歳から74歳までの25,219人の代表サンプル、2025年3月21日～2025年4月4日。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。フィルター: 国: 世界 | 現在のウェーブ: 2025年4月

米国フォーカス

米国フォーカス

世界ベース: 29か国の16歳から74歳までの25,219人の代表サンプル、2025年3月21日～2025年4月4日。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

米国での実査は**3月26日に完了**しました。ドナルド・トランプ氏の「解放の日」は4月2日であり、全件の実査終了の2日前にあたります。

先月から引き続き、共和党支持者と民主党支持者の間には、楽観度に大きな差があります。「国は正しい方向に向かっている」と答えた共和党支持者の割合はわずかに減少し、76%から4分の3(74%)になりました。一方で、同様の見解を示した民主党支持者の割合は4ポイント減少して16%となり、その差は58ポイントに広がりました。先月の差は56ポイントでした。

今月は所得層全体にわたって経済見通しに変化が見られ、低所得層と中所得層ではより前向きな見通しが示されています。低所得者層で経済が「良い」と考える割合は6ポイント上昇して32%となり、中

所得者層もやや上昇して38%となっています。一方、高所得者層では経済が「良い」と回答した割合が4ポイント低下して41%となっています。

現在の出来事に関するさらなる分析については、世界向けにカスタマイズされた米国に関するイプソスの最高のインサイトを毎月お届けする新しい「[新しいアメリカを知る](#)」ページをご覧ください。

74%

の共和党支持者が米国は正しい方向に進んでいると信じています(民主党支持者は16%)。

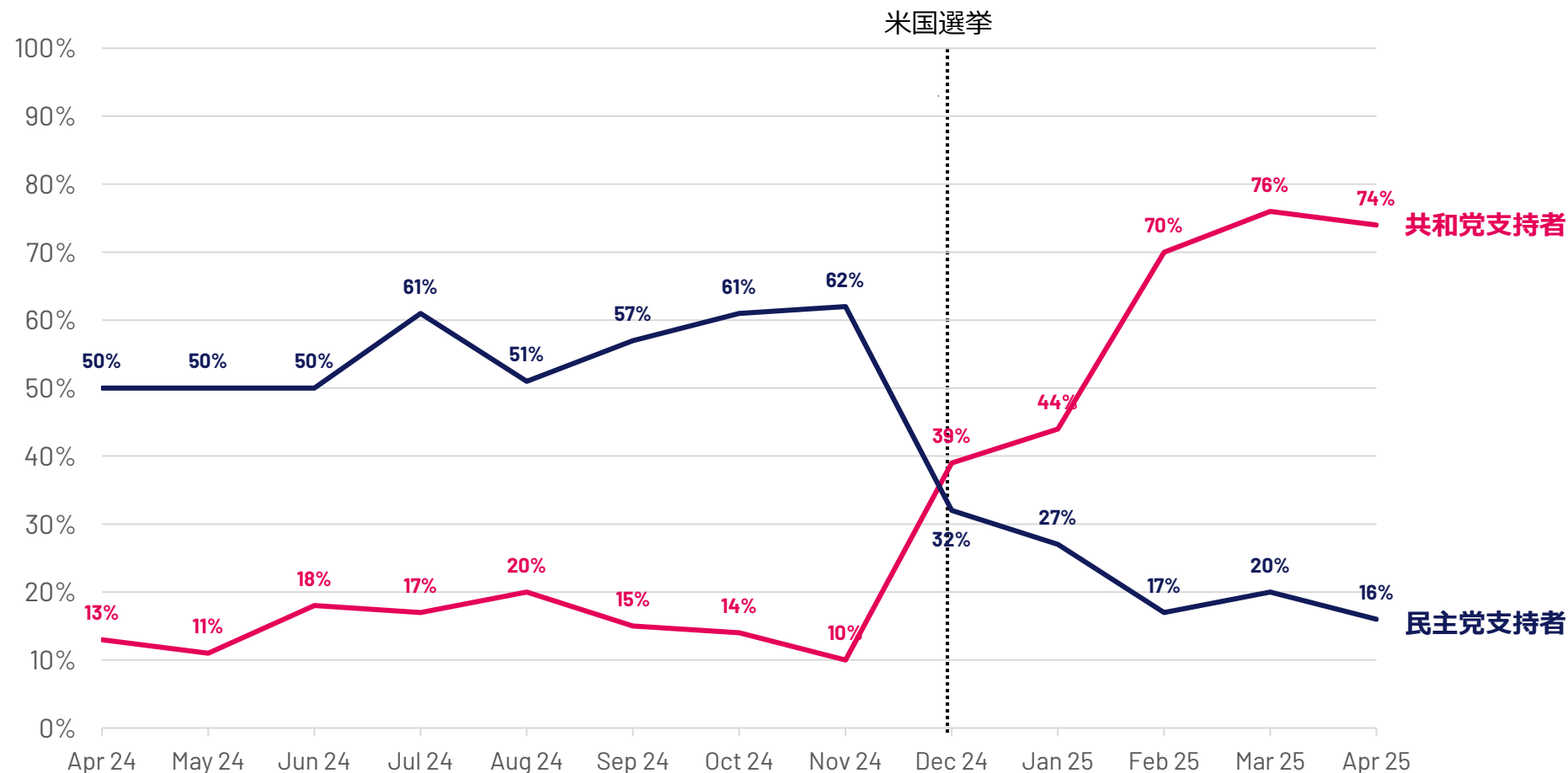
正しい/間違った方向

米国の支持政党別スコア
% '正しい方向'

4月の世界規模ベース: 29か国の16歳から74歳までの25,219人の代表サンプル、2025年3月21日～2025年4月4日。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

Q: この国は正しい方向に向かっていていると思いますか、それとも間違った方向に進んでいると思いますか?



現在の経済状況

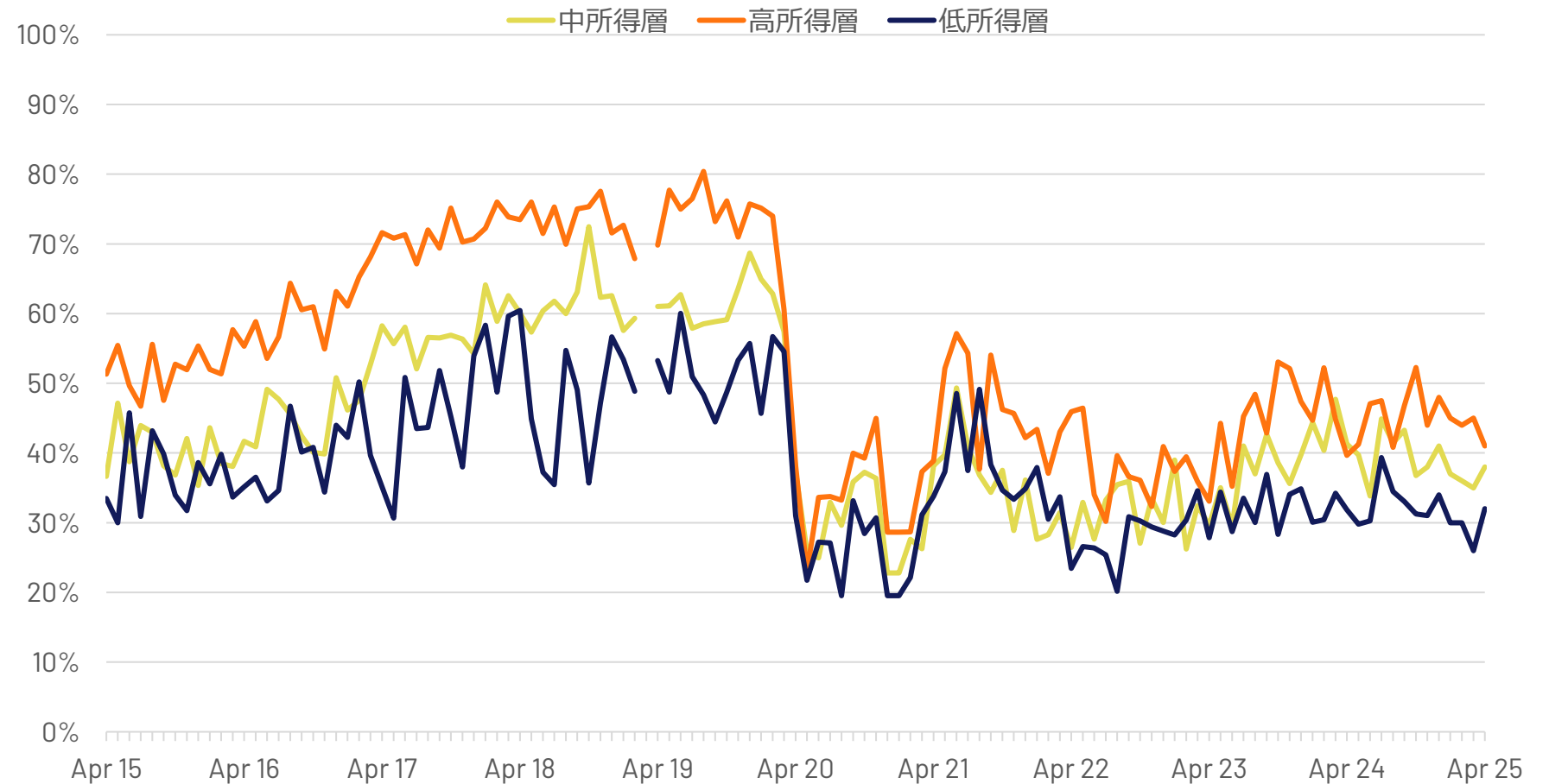
米国の所得水準別

%「とても良い」または「やや良い」

所得水準に関わらず、米国国民はパンデミック以前と比べて米国経済の状況についてあまり楽観的ではありません。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

Q: 自国の現在の経済状況を表現するとしたら、当てはまるものはどれですか。



各国が進む方向

全対象国

正しい方向/ 間違った方向 モニター

対象: 29か国の16歳から74歳までの25,219人の代表サンプル、2025年3月21日～2025年4月4日。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

今月、29か国全体で自国が「正しい方向に向かっている」と答えた人の割合はわずかに減少して37%となっています。

なお、実査は4月2日の「解放の日」の2日後の4月4日に終了しました。

4月末に選挙を控え、自国が「正しい方向に向かっている」と考えるカナダ国民の割合は先月から5ポイント上昇し、36%となっています。これは2024年8月の37%以来の最高スコアです。

一方、米国の南隣国メキシコでは楽観的な見方が低下しています。先月以降、自国に希望を表明する

人の割合は7ポイント減少し、半分(51%)になっています。しかし、これは歴史的に低いわけではなく、2024年12月にも51%のスコアを記録しました。

37%

29か国で37%が「自国は正しい方向に向かっている」と考えています。

正しい方向/ 間違った方向 モニター

対象: 29か国の16歳から74歳までの25,219人の代表サンプル、2025年3月21日～2025年4月4日。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

フィルター: 国: 世界 | 現在のウェブ: 2025年4月

国

世界

シンガポール

マレーシア

インドネシア

インド

タイ

アルゼンチン

メキシコ

オーストラリア

米国

ポーランド

ブラジル

カナダ

コロンビア

スペイン

ベルギー

チリ

イスラエル

英国

南アフリカ

イタリア

スウェーデン

ドイツ

トルコ

日本

オランダ

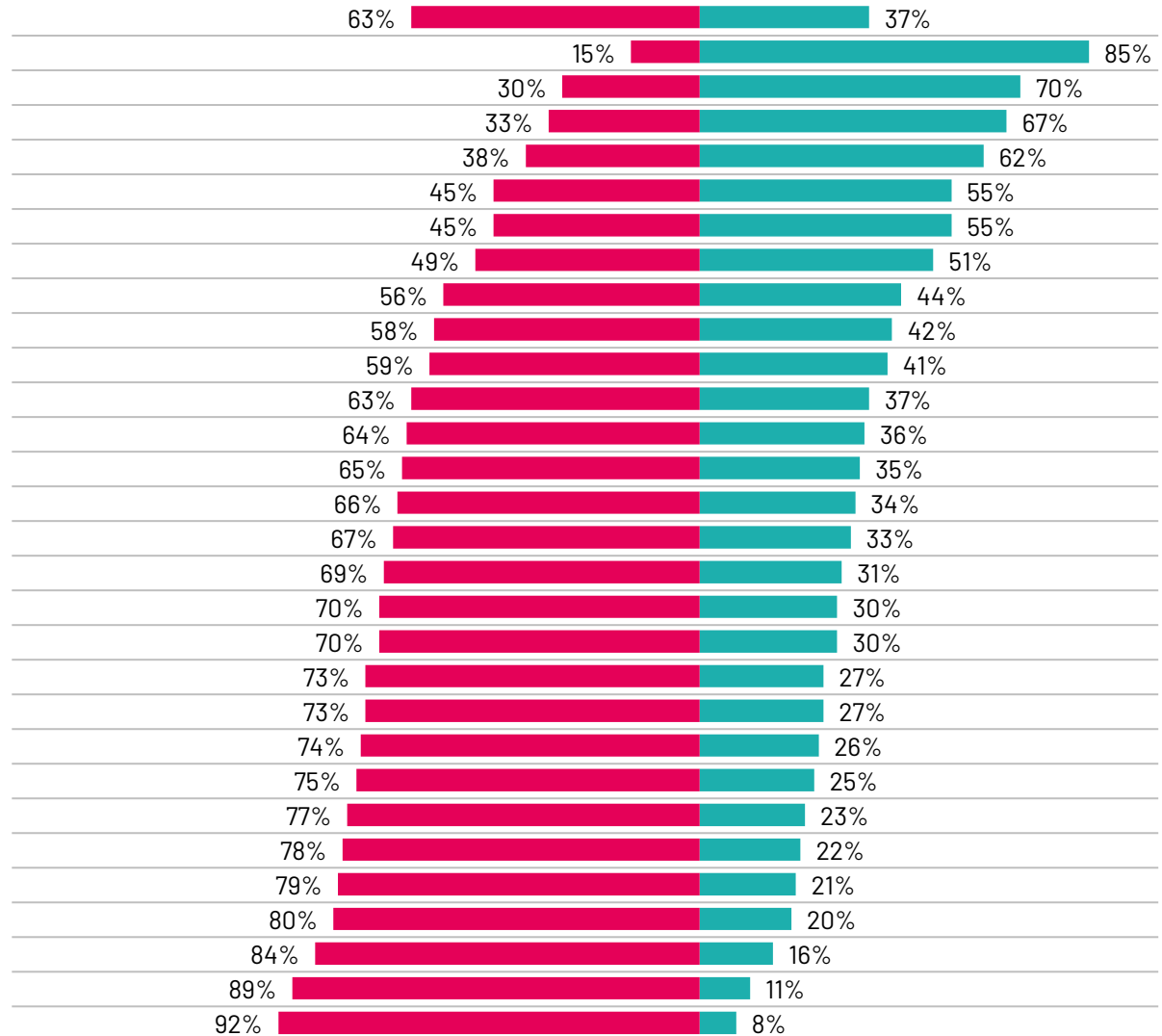
ハンガリー

フランス

韓国

ペルー

Q: この国は正しい方向に向かっていると思いますか、それとも間違った方向に進んでいると思いますか? (2025年4月)



正しい方向

間違った方向

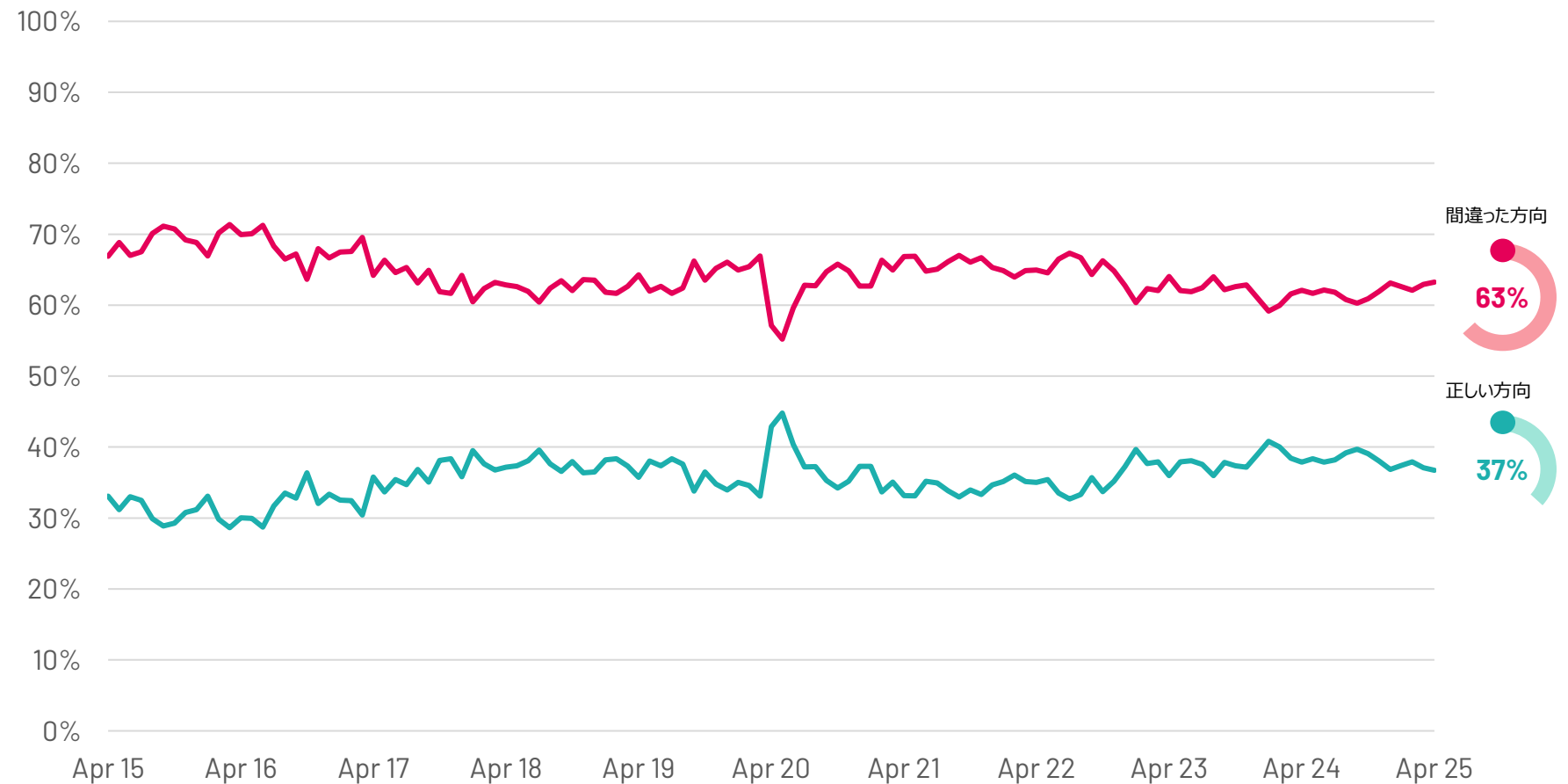
世界の正しい/ 間違った方向

世界各国の平均スコア

対象: 29か国の16歳から74歳までの25,219人の代表サンプル、2025年3月21日～2025年4月4日。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

Q: この国は正しい方向に向かっていると思いますか、それとも間違った方向に進んでいると思いますか?



世界が懸念していることは？

ランキング上位の懸念事項

世界の懸念事項: 全リスト

対象: 29か国の16歳から74歳までの25,219人の代表サンプル、2025年3月21日～2025年4月4日。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

フィルター: 国: 世界 | 現在のウェブ: 2025年4月

29か国全体では、インフレが自国が直面する主要課題の一つであると答えた人の割合は3分の1(33%)にとどまっています。生活費はここ数年、人々の懸念事項となっており、今月のスコアは2024年7月以来の最高値(同じく33%)となっています。今月、懸念レベルが最も上昇したのはアルゼンチンとドイツです。

失業は、29か国全体で懸念レベルがわずかに低下したため、4位から5位に低下しました。

リストにある他のほとんどの懸念事項は変わっていませんが、強調した点がいくつかあります。気候変動への懸念は29か国でわずかに上昇

し、懸念を表明した人は15%となっています。なかでも韓国と日本での増加が最も顕著でした。

同様に、国家間の軍事的な対立を挙げる人もわずかに増加して12%となっています。

33%

29か国で33%がインフレが最大の課題であると回答しています。

世界の懸念事項: 全リスト

対象: 29か国の16歳から74歳までの25,219人の代表サンプル、2025年3月21日～2025年4月4日。

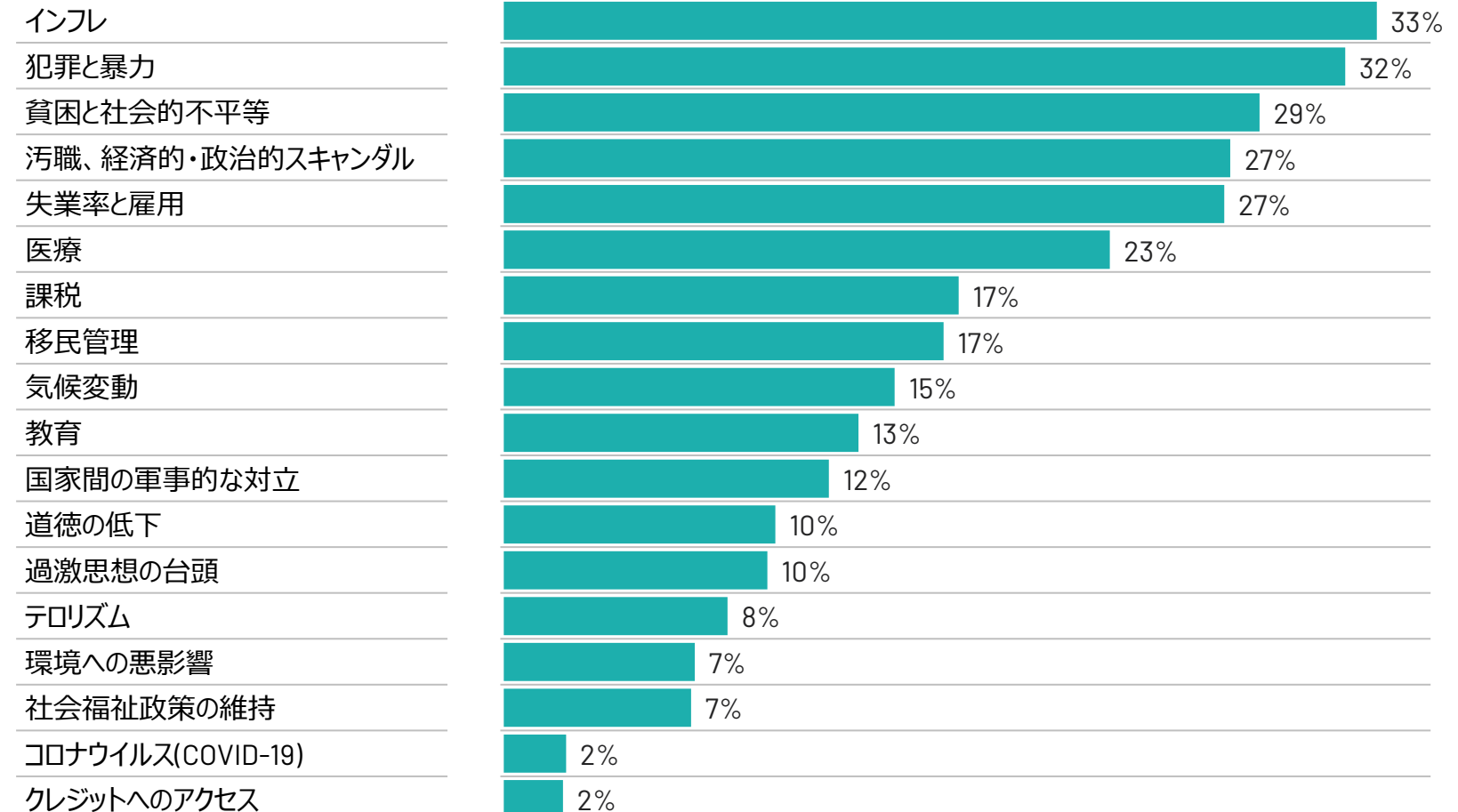
出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

フィルター: 国: 世界 | 現在のウェブ: 2025年4月

Q: 次の中から、あなたの国において最も懸念される事項を3つ選択してください。

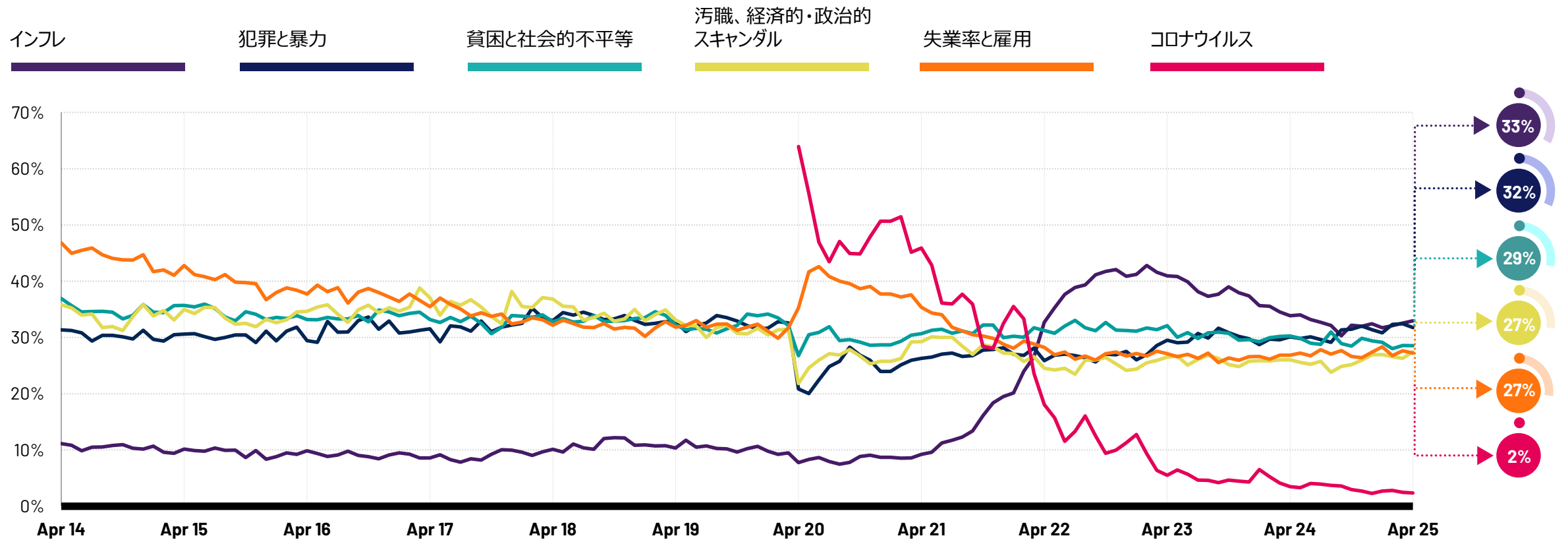
懸念事項

2025年4月の回答割合 (世界各国平均)



世界の懸念: 長期トレンド

Q: 次の中から、あなたの国において最も懸念される事項を3つ選択してください。世界各国平均



対象: 29か国の16歳から74歳までの25,219人の代表サンプル、2025年3月21日～2025年4月4日。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。フィルター: 国: 世界 | 現在のウェーブ: 2025年4月

1. インフレ

29か国全体では、インフレを懸念する人の割合は依然として3分の1(33%で、インフレは今日でも最も差し迫った問題となっています。

今月、カナダはインフレを国内最大の問題の一つと考える人の数が5ポイント増加したことを受けて、当社のリストで3位にランクされました。現在、カナダ国民の半数以上(53%)がインフレを最大の懸念事項と認識しています。これは、2024年6月に54%でピークに達して以来見られなかった水準です。これは昨年の同時期に観察された同様の傾向を反映しており、国民の懸念が季節的または定期的に発生するパターンであることを示唆しています。

かつて記録的な高レベルの不安を経

験していたアルゼンチンでも、不安のレベルは9ポイント上昇し、5分の2(41%)がインフレを回答しています。しかし、これは2023年5月のピークである76%を下回っています。

インフレが最大の懸念事項となっている国：

- ・ シンガポール(56%)・ ポーランド(41%)
- ・ トルコ(55%) ・ インド(39%)
- ・ カナダ(53%) ・ 日本(35%)
- ・ オーストラリア(46%)
- ・ 米国(40%)

33%

が、**インフレ**は自国が直面している重要な問題の一つだと答えています。

対象: 29か国の16歳から74歳までの25,219人の代表サンプル、2025年3月21日～2025年4月4日。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

1. インフレ

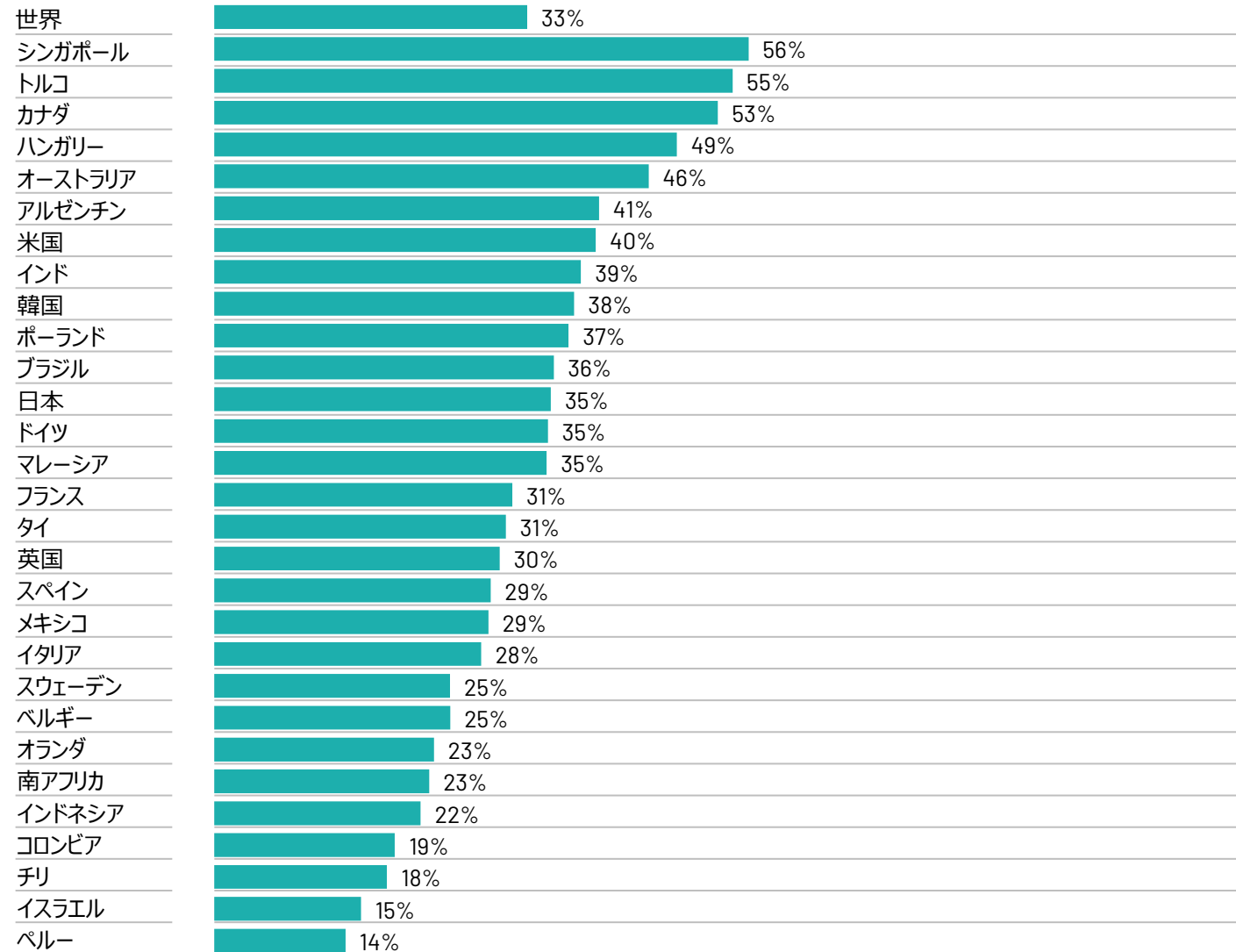
対象: 29か国の16歳から74歳までの25,219人の代表サンプル、2025年3月21日～2025年4月4日。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

フィルター: 国: 世界 | 現在のウェブ: 2025年4月

国

インフレを懸念していると回答した割合



先月からの
変化

12か月間の
変化

=	-1
-2	-5
+1	-3
+5	-1
-2	+16
+2	+1
+9	-22
-3	-5
+3	-2
-3	-4
-4	-4
-2	+12
+3	+7
+8	+4
=	-1
=	-7
+5	+6
-2	-6
=	=
-6	-2
+2	+3
+5	+3
-2	-2
+2	+3
=	+2
+5	+1
+1	-6
-9	-9
-1	+2
-2	-7

2. 犯罪と暴力

29か国全体で、犯罪と暴力に対する懸念を表明する人の割合は、依然として3分の1弱(32%)にとどまっています。これは昨年の同時期と比べてわずかに増加しています。

ペルーでは10ポイントの大幅な増加があり、回答者の4分の3(75%)が懸念を表明しました。これは昨年の同時期より12ポイント高く、2016年10月(75%)以来、ペルーで記録された最も高い懸念レベルです。

スウェーデンでも、不安を感じている人は4ポイント増加し、61%となっています。しかし、これはスウェーデンでよく見られる水準です。

対象: 29か国の16歳から74歳までの25,219人の代表サンプル、2025年3月21日～2025年4月4日。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

32%

が、**犯罪と暴力**は自国が直面している重要な問題の一つだと答えています。

犯罪と暴力が最大の懸念事項となっている国：

- ペルー (75%)
- ブラジル (46%)
- チリ (66%)
- フランス (37%)
- スウェーデン (61%)
- メキシコ (58%)
- アルゼンチン (49%)

2. 犯罪と暴力

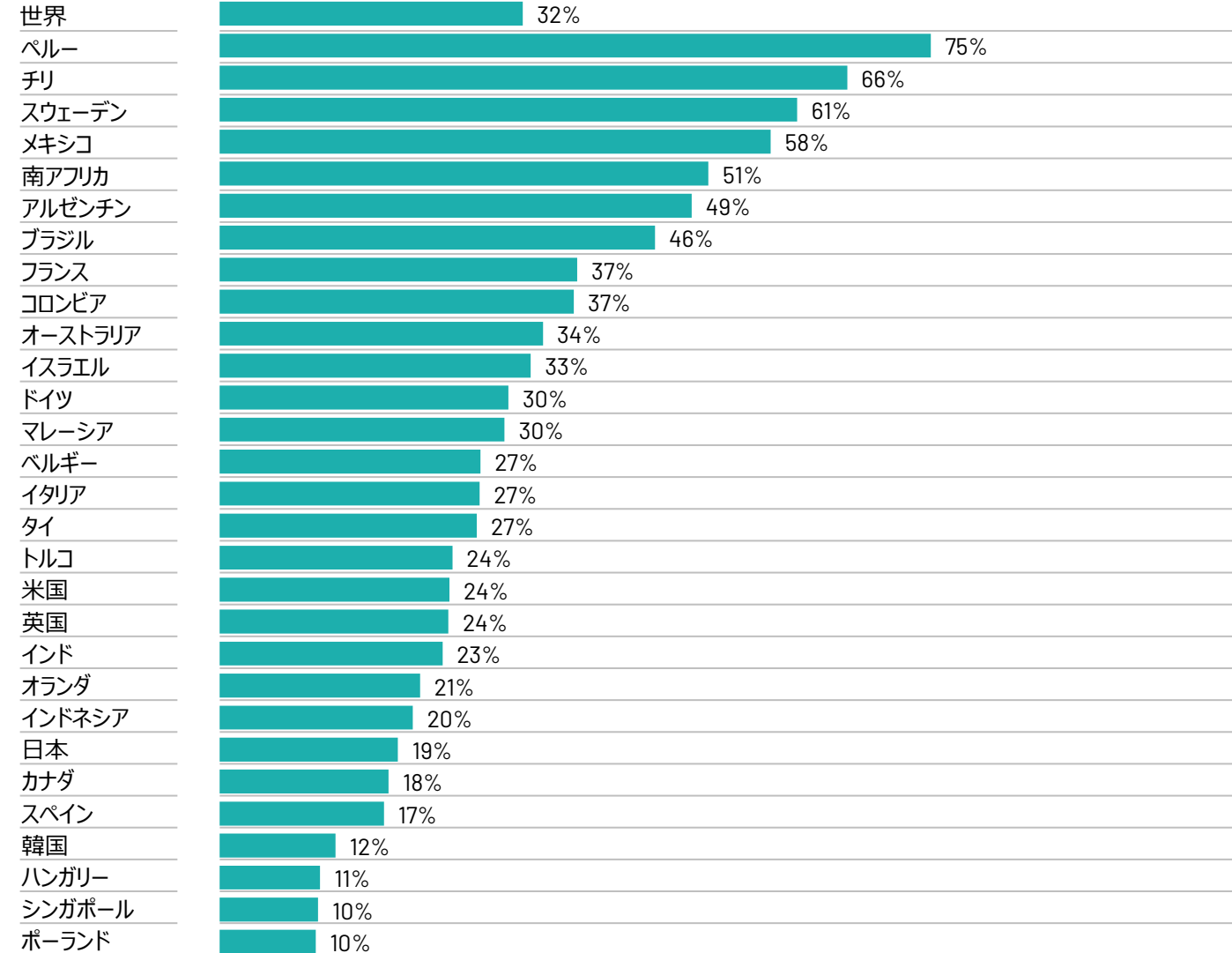
対象: 29か国の16歳から74歳までの25,219人の代表サンプル、2025年3月21日～2025年4月4日。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

フィルター: 国: 世界 | 現在のウェブ: 2025年4月

国

犯罪と暴力を懸念していると回答した割合



先月からの 変化	12か月間の 変化
=	+2
+10	+12
-2	=
+4	-1
=	=
-2	=
-3	+4
+3	+5
-3	+5
-5	-5
-1	+4
=	+5
-1	+6
+4	+10
-4	=
-3	+2
-1	-3
-7	-2
+2	-7
-4	+4
-3	=
-3	-2
+3	+1
=	+5
=	=
=	+1
-2	=
+1	-2
-1	+3
-2	+1

3. 貧困と社会的 不平等

対象: 29か国の16歳から74歳までの25,219人の代表サンプル、2025年3月21日～2025年4月4日。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

貧困と社会的不平等は、29か国全体で依然として最大の懸念事項の1つであり、3人に1人(29%)がそれについて言及しています。これは2024年4月からわずかに減少しています。

インドネシアでは10ポイントの大幅減少となり、2025年4月時点で41%が不安を表明しています。このスコアは2024年4月のスコアより7ポイント低いです。しかし、直近の最低スコアは2024年12月の40%でした。

ハンガリーは現在、当社のリストで2位であり、貧困と社会的不平等が国が直面している主要な問題の一

つであると考える人は5分の2(40%)で、今月は4ポイント上昇しました。

貧困と社会的不平等が最大の 懸念事項となっている国：

- オランダ(31%)

29%

が、**貧困と社会的不平等**は自国が直面している重要な問題の一つだと答えています。

3. 貧困と社会的 不平等

対象: 29か国の16歳から74歳までの25,219人の代表サンプル、2025年3月21日～2025年4月4日。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

フィルター: 国: 世界 | 現在のウェブ: 2025年4月

国

貧困と社会的不平等を懸念していると回答した割合

先月からの
変化

12か月間の
変化

世界	29%	=	-1
インドネシア	41%	-10	-7
ハンガリー	40%	+4	=
タイ	39%	+2	-5
アルゼンチン	39%	-4	=
トルコ	34%	-4	-6
ブラジル	34%	=	-3
日本	33%	-3	-1
コロンビア	32%	-1	+2
ペルー	32%	=	+3
オランダ	31%	+2	-4
南アフリカ	31%	-4	-1
ドイツ	31%	-2	-2
マレーシア	30%	+2	-2
英国	29%	+4	=
イスラエル	29%	+5	+5
オーストラリア	28%	+4	=
イタリア	28%	=	=
ベルギー	27%	+2	-1
メキシコ	25%	-4	-3
カナダ	25%	+1	+1
フランス	24%	-1	=
スペイン	24%	=	-5
チリ	23%	-1	-4
米国	22%	+4	+1
スウェーデン	21%	+1	-3
韓国	20%	-2	-7
インド	19%	+1	+1
シンガポール	19%	=	-5
ポーランド	18%	=	-2

4. 汚職、経済的・政治的スキャンダル

対象: 29か国の16歳から74歳までの25,219人の代表サンプル、2025年3月21日～2025年4月4日。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

29か国全体で、自国が直面している主な問題として汚職、経済的・政治的スキャンダルを挙げる人の割合は、2025年3月と比較して2025年4月時点で27%で安定しています。

トルコでは、汚職、経済的・政治的スキャンダルに対する懸念が新たな高みに達しています。[政治的抗議活動](#)を背景に、懸念を表明する人の割合は11ポイント上昇し、ほぼ5分の2(37%)に達しました。これは昨年の同時期より23ポイント高だけでなく、2015年7月の42%以来、トルコで最も高い数字でもあります。

調査は2022年8月から行われてい

ますが、インドネシアのスコアは汚職を挙げた割合が70%と過去最高を記録しています。

汚職、経済的・政治的スキャンダルが最大の懸念事項となっている国：

- ・ インドネシア(70%)
- ・ マレーシア(48%)
- ・ 韓国(45%)
- ・ タイ(39%)

27%

が、**汚職、経済的・政治的スキャンダル**は自国が直面している重要な問題の一つだと答えています。

4. 汚職、経済的・政治的スキャンダル

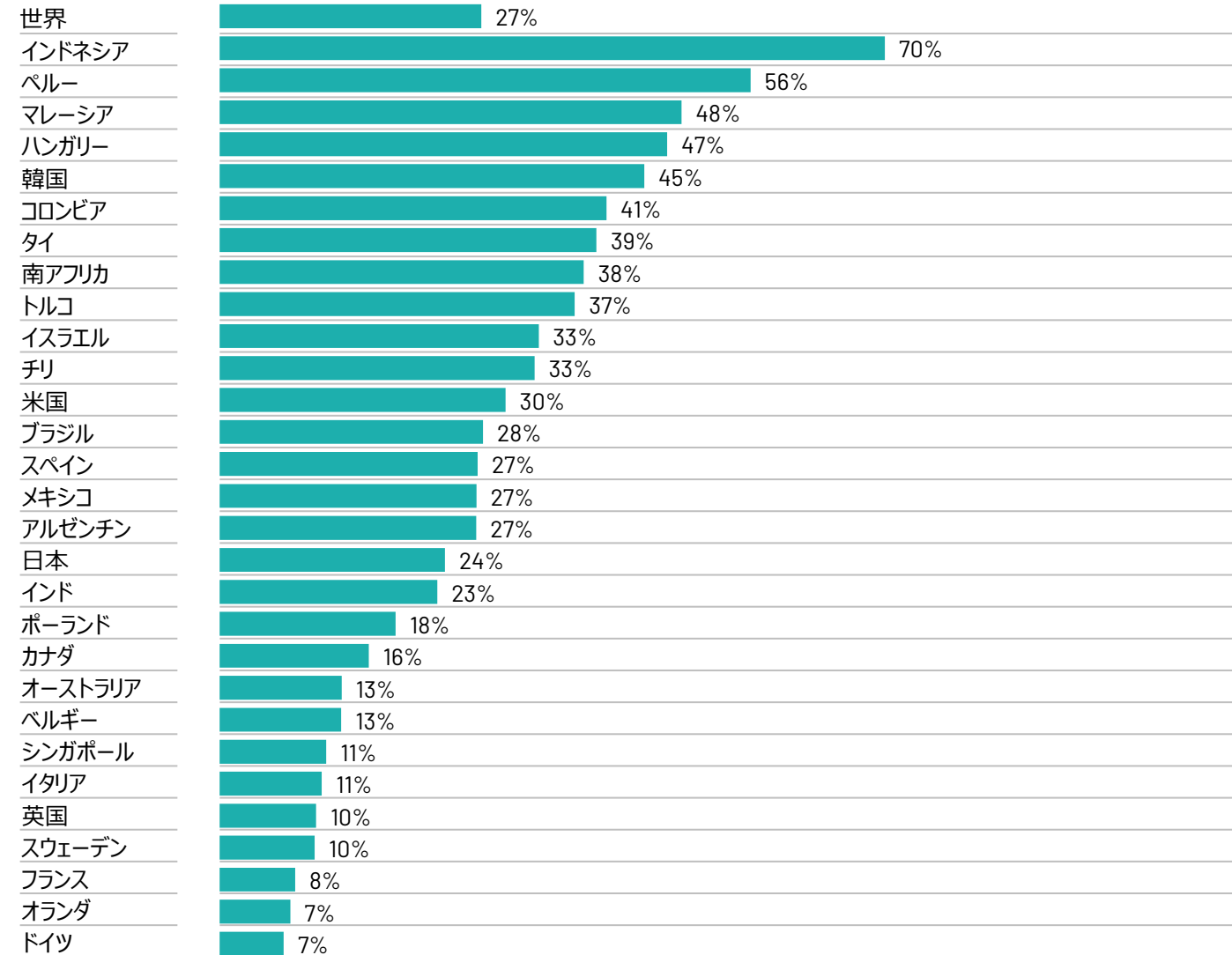
対象: 29か国の16歳から74歳までの25,219人の代表サンプル、2025年3月21日～2025年4月4日。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

フィルター: 国: 世界 | 現在のウェブ: 2025年4月

国

汚職、経済的・政治的スキャンダルを懸念していると回答した割合



先月からの
変化

12か月間の
変化

+1	+1
+3	+13
+5	+5
-6	+4
+3	+1
+2	+13
+2	+5
=	-2
-3	-12
+11	+23
+2	+6
+5	-2
+1	+11
=	=
-1	-2
+4	+5
=	+5
+2	-13
+3	+2
-3	-11
+2	+4
+3	+1
=	-6
+4	=
-1	-2
=	-5
+1	+1
-3	+1
=	-3
=	-1

5.失業率と雇用

対象: 29か国の16歳から74歳までの25,219人の代表サンプル、2025年3月21日～2025年4月4日。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

29か国全体で失業率と雇用に対する懸念は先月に比べてわずかに減少し、2025年4月には失業率と雇用を大きな問題として挙げる人の割合は27%に減少しています。

今月、懸念を表明した人の数が最も減少したのは韓国で、8ポイント減の38%となっています。

同様に、南アフリカでは5ポイントの顕著な減少が見られ、不安を表明した人は5分の3(62%)となっています。しかし、これもまた、この国で一般的に見られるレベルとほぼ同じです。

コロンビアでは懸念を表明する人が5ポイント増加して44%となり、2024年9月(50%)以来の最高値となっています。

失業率と雇用が最大の懸念事項となっている国：

- 南アフリカ(62%)
- コロンビア(44%)

27%

が、**失業率と雇用**は自国が直面している重要な問題の一つだと答えています。

5.失業率と雇用

対象: 29か国の16歳から74歳までの25,219人の代表サンプル、2025年3月21日～2025年4月4日。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

フィルター: 国: 世界 | 現在のウェブ: 2025年4月

国

失業率と雇用を懸念していると回答した割合

世界

27%

南アフリカ

62%

アルゼンチン

46%

インドネシア

46%

コロンビア

44%

シンガポール

41%

韓国

38%

メキシコ

36%

インド

35%

ペルー

34%

イタリア

33%

チリ

31%

タイ

31%

スペイン

31%

マレーシア

30%

スウェーデン

28%

トルコ

25%

カナダ

23%

ポーランド

19%

ベルギー

19%

オーストラリア

18%

英国

17%

ハンガリー

17%

日本

17%

ブラジル

16%

米国

16%

ドイツ

11%

イスラエル

10%

フランス

10%

オランダ

5%

先月からの
変化

12か月間
の変化

-1

=

-5

-4

+3

+3

-9

+6

+5

+1

-5

+6

-8

-3

+3

+6

+3

-2

-1

=

+1

-1

-2

-2

+2

+5

-4

-9

=

-3

+4

+12

=

-3

+1

+2

-2

+7

+2

+7

-2

-6

+3

+3

+1

-3

+1

=

-1

-7

-1

=

+2

+1

=

-4

-2

=

-1

=

6. 医療

対象: 29か国の16歳から74歳までの25,219人の代表サンプル、2025年3月21日～2025年4月4日。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

29か国全体で医療が問題となっている割合は23%で、昨年同時期と変化はありません。

懸念を表明する人の割合が4ポイント上昇して43%となり、医療が現在ポーランドの最大の課題となっています。

コロンビアでは医療に対する懸念が徐々に高まっており、現在では国内で記録的なレベルに達しています。コロンビアが直面している最大の問題の一つであると答えた人は4ポイント増の3分の1(32%)で、これは昨年の同時期より13ポイント高く、2021年3月に調査に追加されて以来、コロンビアにとって最高値です。

医療が最大の懸念事項となっている国：

- ハンガリー (59%)
- ポーランド (43%)
- 英国 (39%)
- イタリア (36%)
- スペイン (31%)

23%

が、**医療**は自国が直面している重要な問題の一つだと答えています。

6. 医療

対象: 29か国の16歳から74歳までの25,219人の代表サンプル、2025年3月21日～2025年4月4日。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

フィルター: 国: 世界 | 現在のウェブ: 2025年4月

国

医療を懸念していると回答した割合

国	医療を懸念していると回答した割合	先月からの 変化	12か月間 の変化
世界	23%	=	=
ハンガリー	59%	-4	-6
ポーランド	43%	+4	+5
カナダ	42%	-4	-4
英国	39%	-3	-2
ブラジル	37%	+5	-5
イタリア	36%	-1	+4
コロンビア	32%	+4	+13
シンガポール	31%	+3	+2
オーストラリア	31%	-3	-2
スペイン	31%	-2	+1
オランダ	25%	-7	-7
フランス	24%	-2	-1
米国	24%	+1	+2
ベルギー	22%	+3	+3
スウェーデン	20%	+4	-2
メキシコ	20%	+1	=
南アフリカ	17%	+1	+3
ドイツ	17%	+1	+1
チリ	16%	+4	+4
アルゼンチン	14%	-2	+1
ペルー	14%	-1	-3
インド	13%	-1	+1
韓国	12%	-1	-13
日本	11%	-3	=
マレーシア	10%	=	+3
タイ	9%	-1	=
イスラエル	6%	-2	+1
インドネシア	6%	-1	-2
トルコ	4%	-1	-1

9. 気候変動

対象: 29か国の16歳から74歳までの25,219人の代表サンプル、2025年3月21日～2025年4月4日。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

29か国全体で、気候変動が自国が直面する主要な問題であると答えた人の割合は、2025年4月にはわずかに増加して15%となっています。

韓国では、気候変動に対する懸念が最も大きく変化しました。懸念を表明する人の割合が6ポイント上昇し、ちょうど5分の1強(22%)となっています。これも昨年の同時期より6ポイント高い数字です。

日本でも不安は4ポイント上昇し、27%が懸念を表明し、最も不安を感じている国となっています。しかし、2024年10月が日本において記録した最高値であり、35%でした。

この問題に関する一般の人々の意識の詳細については、当社の最新のレポート「[人類と気候変動](#)」をご覧ください。

気候変動が最大の懸念事項となっている国：

なし

15%

が、**気候変動**は自国が直面している重要な問題の一つだと答えています。

9. 気候変動

対象: 29か国の16歳から74歳までの25,219人の代表サンプル、2025年3月21日～2025年4月4日。

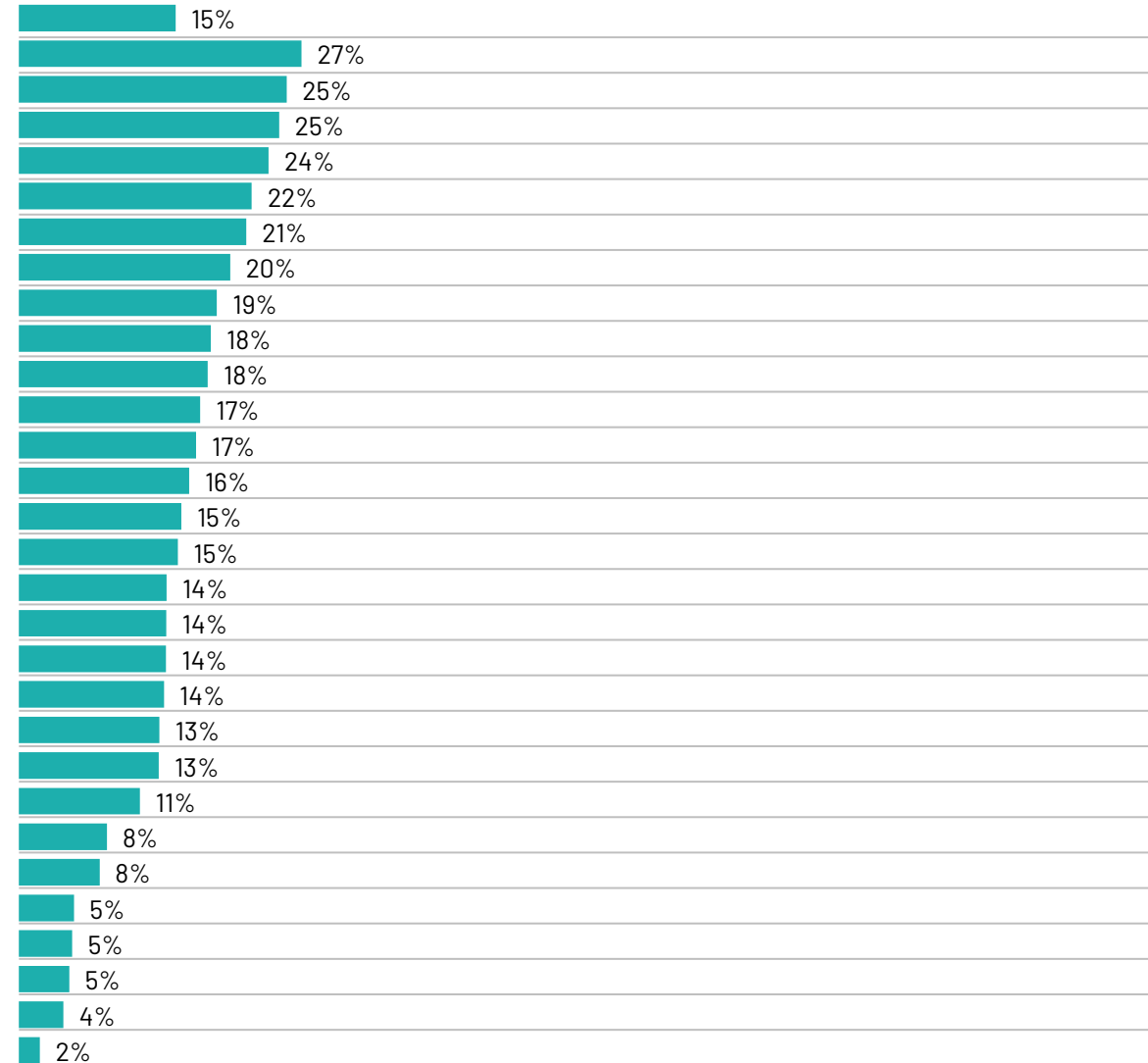
出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

フィルター: 国: 世界 | 現在のウェブ: 2025年4月

国

気候変動を懸念していると回答した割合

世界
日本
タイ
シンガポール
オランダ
韓国
オーストラリア
イタリア
フランス
スペイン
英国
ドイツ
スウェーデン
メキシコ
ポーランド
ベルギー
マレーシア
カナダ
インドネシア
ブラジル
インド
米国
コロンビア
南アフリカ
ハンガリー
トルコ
チリ
ペルー
アルゼンチン
イスラエル



先月からの 変化	12か月間 の変化
+1	-2
+4	+2
+3	+2
+1	-8
+2	-2
+6	+6
-1	-1
+4	-1
-1	-3
=	-2
+3	-2
-5	-7
=	+2
+1	-5
+1	+1
-2	-4
+4	=
-3	-7
+3	-7
-1	+2
+2	=
-1	-4
+3	-3
-1	-2
=	+3
-2	-4
-2	-2
-2	-2
+1	=
+1	-3

11. 国家間の軍事的な対立

対象: 29か国の16歳から74歳までの25,219人の代表サンプル、2025年3月21日～2025年4月4日。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

29か国全体で、自国が直面している主な問題として軍事紛争を挙げる人の割合は、2025年4月にはわずかに増加して12%となっています。

フランスでは、軍事紛争に対する懸念が10ポイント上昇し、今月は4分の1(25%)が軍事紛争を回答しています。このスコアは昨年同時期より9ポイント高く、2022年4月にこの懸念事項が追加されて以来、フランスにとって最高となります。

同様に、ヨーロッパの他の国々でも不安は高まっています。ポーランド(39%)での言及は7ポイント上昇し、懸念レベルはオランダ(29%)で4ポイント上昇、ベルギー(23%)で5ポイン

ト上昇、イタリア(18%)で4ポイント上昇、スペイン(16%)で7ポイント上昇しています。

国家間の軍事的な対立が最大の懸念事項となっている国々:

なし

12%

が、**国家間の軍事的な対立**は自国が直面している重要な問題の一つだと答えています。

11. 国家間の軍事的な対立

対象: 29か国の16歳から74歳までの25,219人の代表サンプル、2025年3月21日～2025年4月4日。

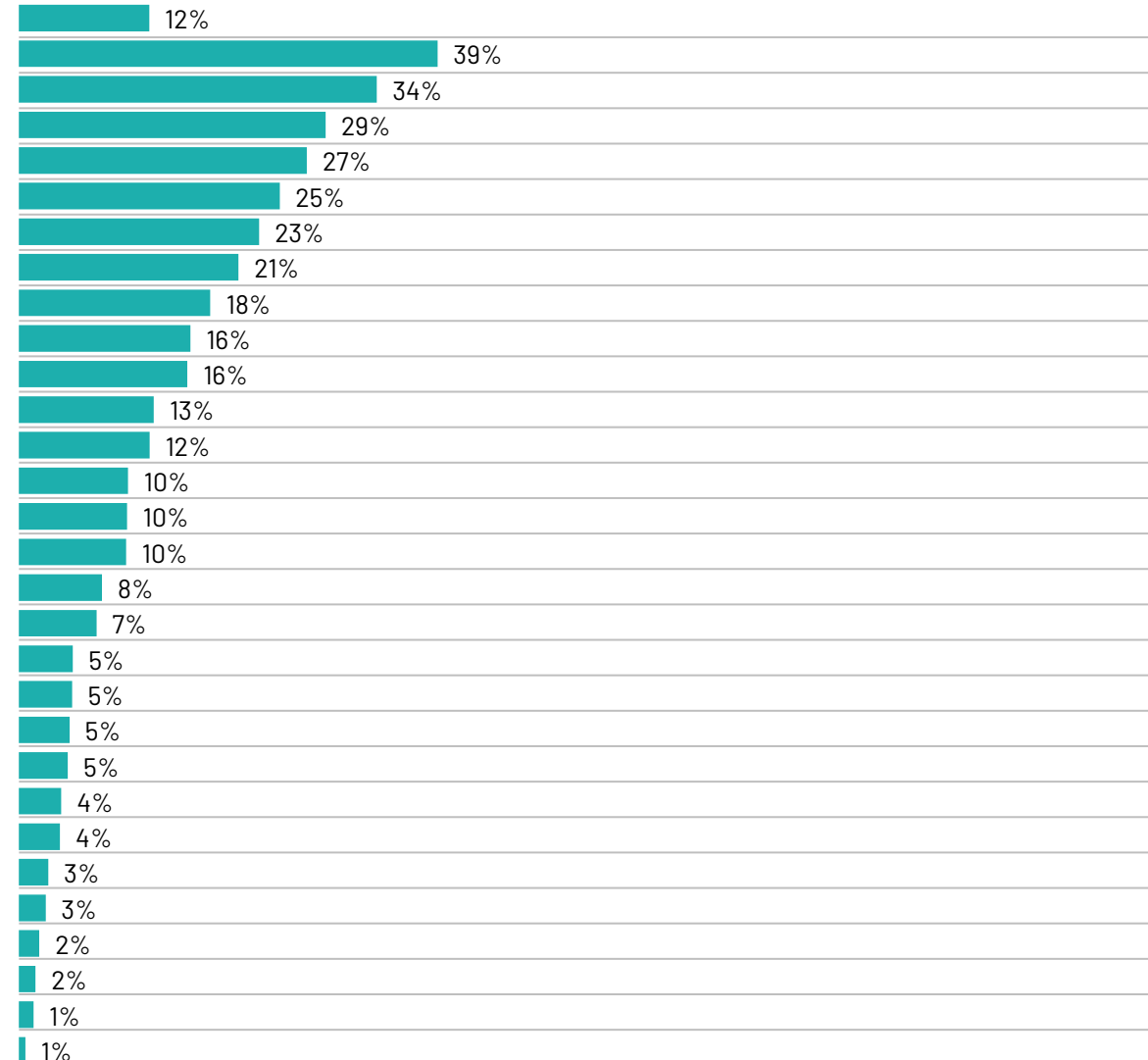
出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

フィルター: 国: 世界 | 現在のウェブ: 2025年4月

国

国家間の軍事的な対立を懸念していると回答した割合

世界
ポーランド
イスラエル
オランダ
ドイツ
フランス
ベルギー
スウェーデン
イタリア
英国
スペイン
日本
米国
オーストラリア
韓国
カナダ
インド
タイ
マレーシア
シンガポール
ハンガリー
メキシコ
南アフリカ
インドネシア
ブラジル
チリ
トルコ
コロンビア
アルゼンチン
ペルー



先月からの 変化	12か月間の 変化
+1	+2
+7	-1
+1	-5
+4	+13
=	+5
+10	+9
+5	+10
-6	+6
+4	+1
+1	+2
+7	+8
+2	-1
+2	-2
-1	+3
+1	+1
+2	+4
+1	+1
-1	+3
=	+2
-2	-1
-1	-1
+1	+2
-1	+2
+3	-1
+1	+1
+1	+1
=	=
-4	-1
-1	-1
-1	=

17. コロナウイルス (COVID-19)

29か国全体で、新型コロナウイルス感染症に対する不安を表明する人の割合はわずか2%にとどまっています。

今月は各国で目立った変化はほとんどありませんでした。しかし、パンデミックが始まってから6年目を迎えるにあたり、私たちはこの問題を引き続き監視していきます。

対象: 29か国の16歳から74歳までの25,219人の代表サンプル、2025年3月21日～2025年4月4日。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

コロナウイルス(COVID-19)が最大の懸念事項となっている国：

なし

2%

が、コロナウイルス(COVID-19)は自国が直面している重要な問題の一つだと答えています。

対象: 29か国の16歳から74歳までの25,219人の代表サンプル、2025年3月21日～2025年4月4日。

出典: イブソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

フィルター: 国: 世界 | 現在のウェーブ: 2025年4月



経済フォーカス

自国の経済状況

イプソスの**世界が懸念していること調査**と並び、毎月実施されている**世界消費者信頼感調査**は、29カ国の一般消費者を対象に、国と個人のレベルにおける経済と金融について調査を実施しています。

以下のセクションでは、このデータの一部を用いて、今月の「世界が懸念していること調査」レポートの背景を説明しています。これは、国民が自国の現在の経済情勢をどのように評価しているかを示すものです。

詳細については、
Emilios.Louca@ipsos.com
までお問い合わせください。

現在の経済状況

29か国平均では、3分の1強(36%)が自国の現在の経済状況を「良好」と評価しています。

過去12か月間で最も上昇したのはマレーシアで、25ポイント上昇して70%に達しました。アルゼンチンも12か月間で力強い上昇(+18ポイント)を示しているものの、その好景気スコアは3か月連続で低下しています。

対照的に、インドネシアの好景気スコアは昨年4月より14ポイント低下しています。それにもかかわらず、この国は当社の調査で51%と5番目に肯定的な国のままです。

対象: 29か国の16歳から74歳までの25,219人の代表サンプル、2025年3月21日～2025年4月4日。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

一方、韓国では先月から3ポイント低下し、好景気スコアはわずか6%となり、過去最低を記録しています。

経済を最も懸念している上位国:

- **韓国** (94%が「悪い」状態だと回答)
- **日本** (90%)
- **フランス** (83%)
- **ハンガリー、ペルー** (ともに81%)

6%

韓国では、自国の経済状況を良好だと評価する人はわずか6%です。



現在の経済状況

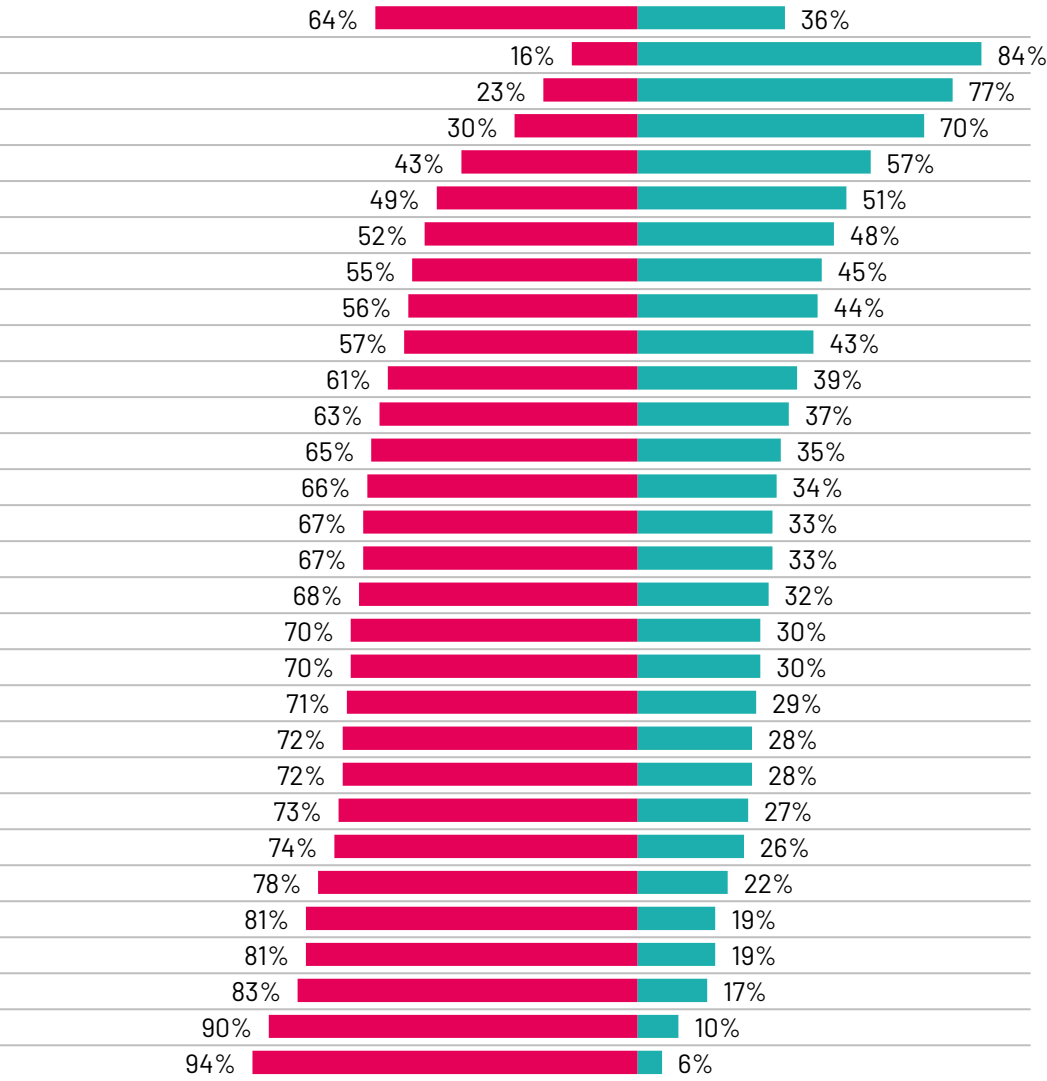
対象: 29か国の16歳から74歳までの25,219人の代表サンプル、2025年3月21日～2025年4月4日。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

フィルター: 国: 世界 | 現在のウェブ: 2025年4月

国
世界
シンガポール
インド
マレーシア
オランダ
インドネシア
メキシコ
タイ
ポーランド
オーストラリア
スペイン
米国
イスラエル
ベルギー
チリ
スウェーデン
ブラジル
イタリア
カナダ
アルゼンチン
コロンビア
ドイツ
南アフリカ
英国
トルコ
ペルー
ハンガリー
フランス
日本
韓国

Q: 自国の現在の経済状況を表現するとしたら、当てはまるものはどれですか。



良い 悪い

先月からの 変化	12か月間の 変化
+1	-2
+5	+8
-4	-8
+3	+25
-2	-6
+9	-14
-1	-5
+1	-10
+3	+4
-5	-4
+3	+4
+1	+1
=	-4
-1	-3
+6	+3
-5	-7
+5	-6
+2	-2
+4	-1
-2	+18
+3	=
+2	-8
+1	+3
+4	-3
-1	-2
-1	+1
-1	+2
+5	-4
-1	-8
-3	-10



現在の経済状況

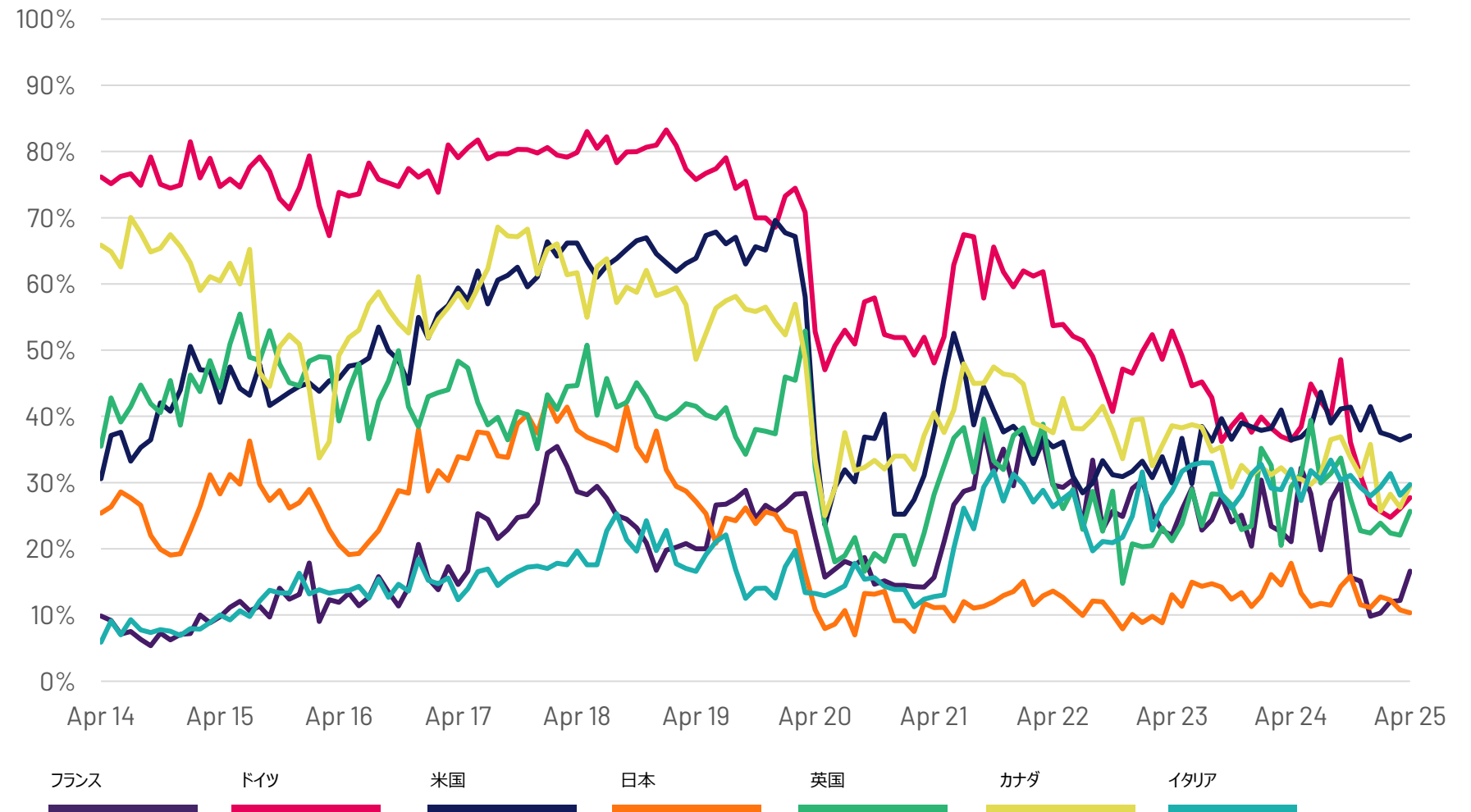
G7

%「とても良い」または「やや良い」

対象: 29か国の16歳から74歳までの25,219人の代表サンプル、2025年3月21日～2025年4月4日。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

Q: 自国の現在の経済状況を表現するとしたら、当てはまるものはどれですか。



現在の経済状況

アルゼンチン

%「とても良い」または「やや良い」

アルゼンチンの好景気スコアは昨年の同時期と比べて18ポイント上昇しましたが、3か月連続で下落しています。

対象: 29か国の16歳から74歳までの25,219人の代表サンプル、2025年3月21日～2025年4月4日。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

Q: 自国の現在の経済状況を表現するとしたら、当てはまるものはどれですか。



現在の経済状況

カナダ

%「とても良い」または「やや良い」

今月は4ポイント上昇したにもかかわらず、カナダの好景気スコアは過去と比べると依然として低いまです。

対象: 29か国の16歳から74歳までの25,219人の代表サンプル、2025年3月21日～2025年4月4日。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

Q: 自国の現在の経済状況を表現するとしたら、当てはまるものはどれですか。



現在の経済状況

フランス

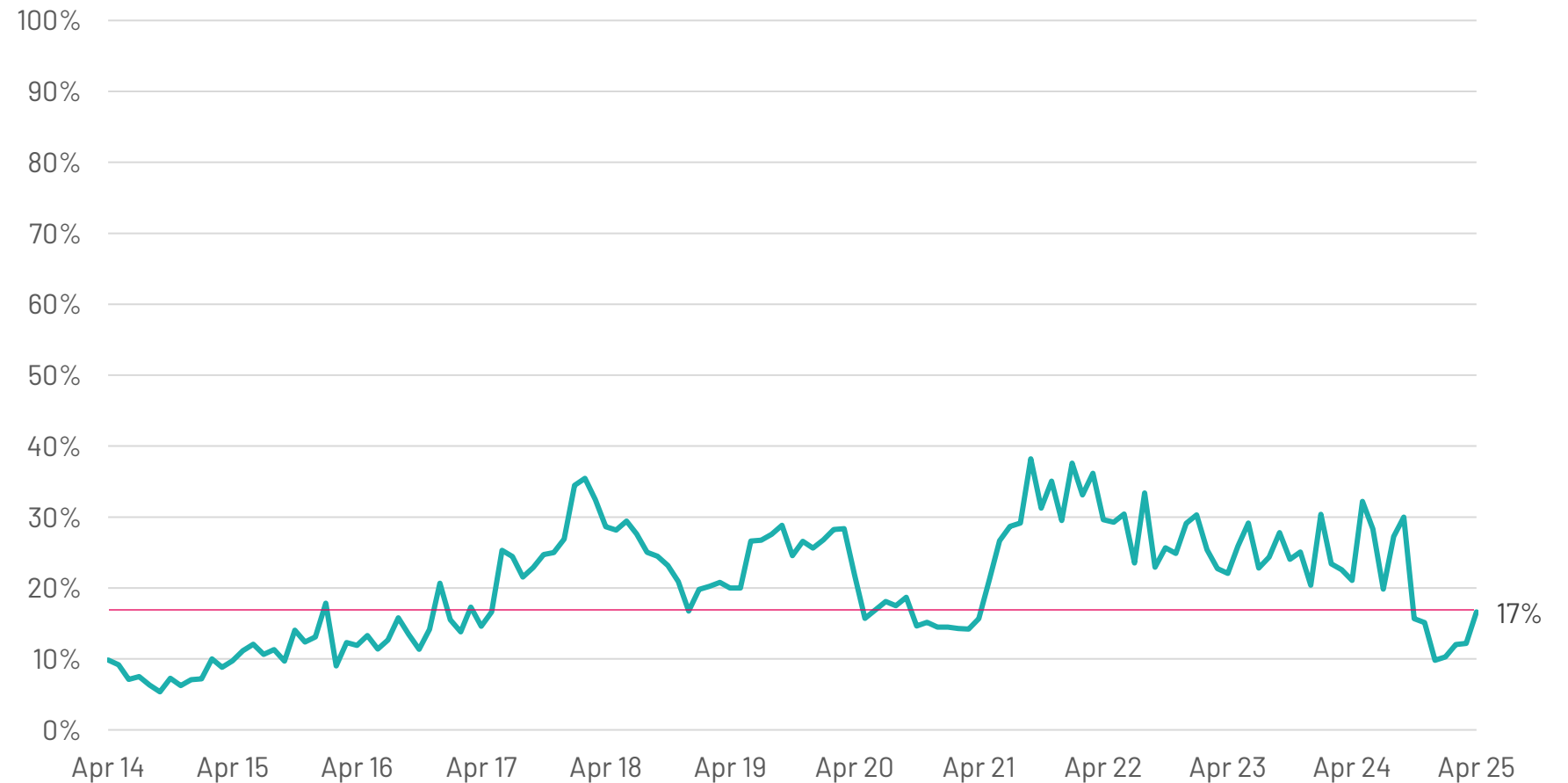
%「とても良い」または「やや良い」

フランスの好景気スコアはパンデミック後の最高値よりはまだはるかに低いものの、4か月連続で上昇しています。

対象: 29か国の16歳から74歳までの25,219人の代表サンプル、2025年3月21日～2025年4月4日。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

Q: 自国の現在の経済状況を表現するとしたら、当てはまるものはどれですか。



現在の経済状況

ドイツ

%「とても良い」または「やや良い」

ドイツの好景気スコアはパンデミック前の水準に戻っていません。

対象: 29か国の16歳から74歳までの25,219人の代表サンプル、2025年3月21日～2025年4月4日。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

Q: 自国の現在の経済状況を表現するとしたら、当てはまるものはどれですか。



現在の経済状況

英国

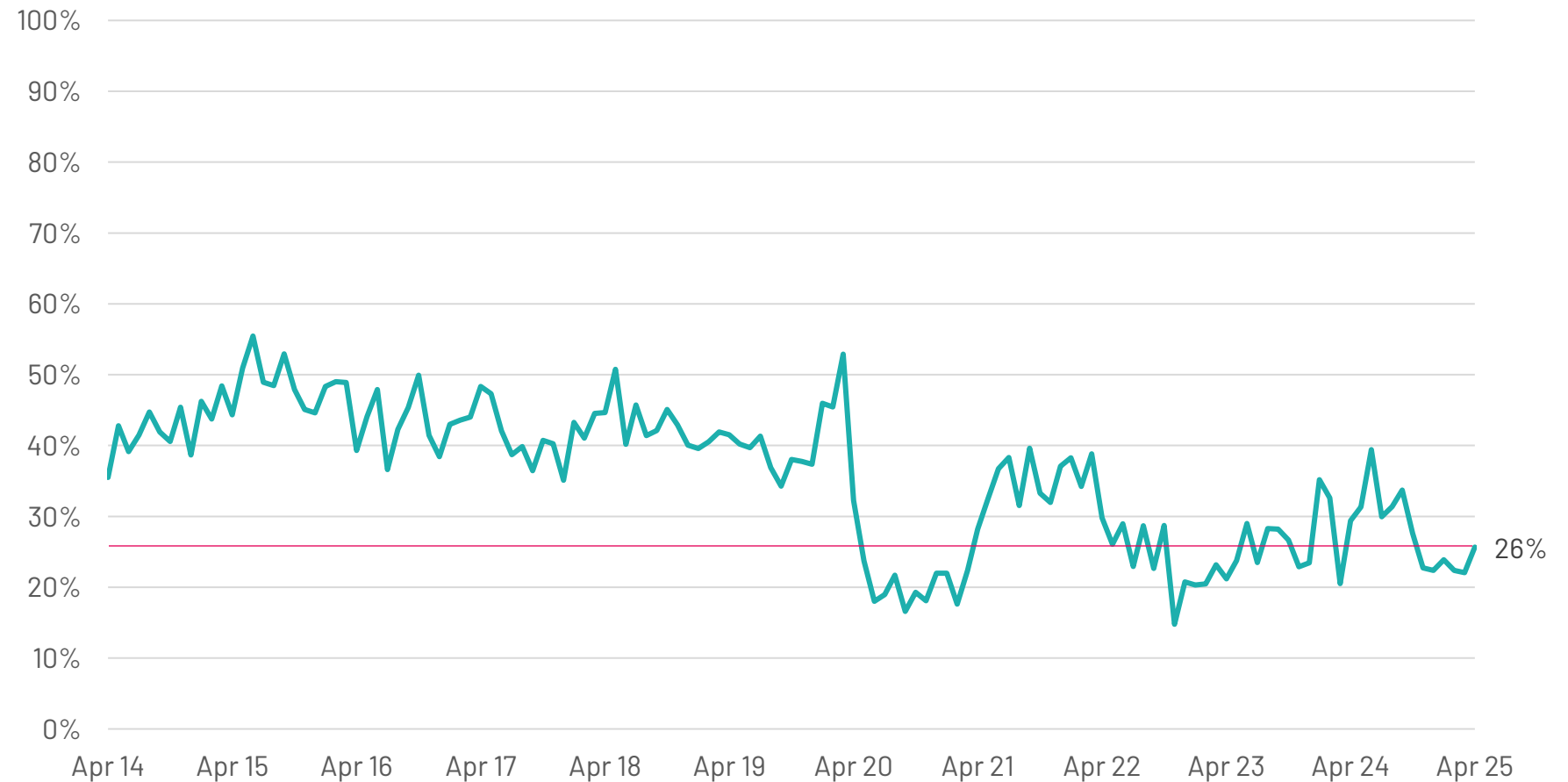
%「とても良い」または「やや良い」

英国の好景気スコアは昨年の同時期より3ポイント低下しています。

対象: 29か国の16歳から74歳までの25,219人の代表サンプル、2025年3月21日～2025年4月4日。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

Q: 自国の現在の経済状況を表現するとしたら、当てはまるものはどれですか。



現在の経済状況

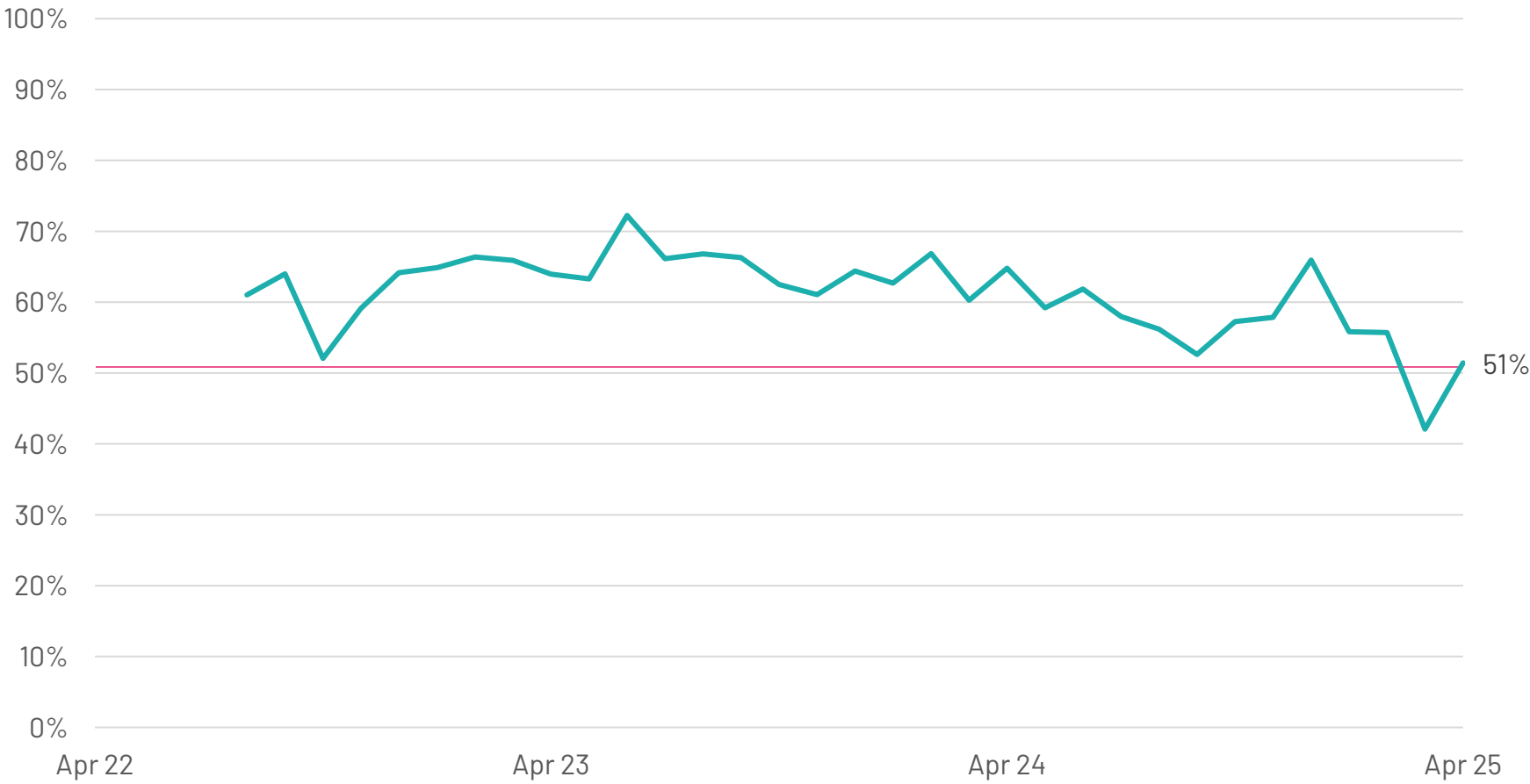
インドネシア

%「とても良い」または「やや良い」

インドネシアは、好景気スコアが前年比で最大の低下を記録し、2024年4月から14ポイント低下しています。

対象: 29か国の16歳から74歳までの25,219人の代表サンプル、2025年3月21日～2025年4月4日。
出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

Q: 自国の現在の経済状況を表現するとしたら、当てはまるものはどれですか。



現在の経済状況

イタリア

%「とても良い」または「やや良い」

イタリアの経済に対する認識は過去2年間安定しており、最高33%、最低26%の範囲となっています。

対象: 29か国の16歳から74歳までの25,219人の代表サンプル、2025年3月21日～2025年4月4日。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

Q: 自国の現在の経済状況を表現するとしたら、当てはまるものはどれですか。



現在の経済状況

日本

%「とても良い」または「やや良い」

日本の経済状況に関する認識は、新型コロナウイルス感染症のパンデミックから回復しておらず、2020年2月以降20%を超えて上昇していません。

対象: 29か国の16歳から74歳までの25,219人の代表サンプル、2025年3月21日～2025年4月4日。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

Q: 自国の現在の経済状況を表現するとしたら、当てはまるものはどれですか。



現在の経済状況

マレーシア

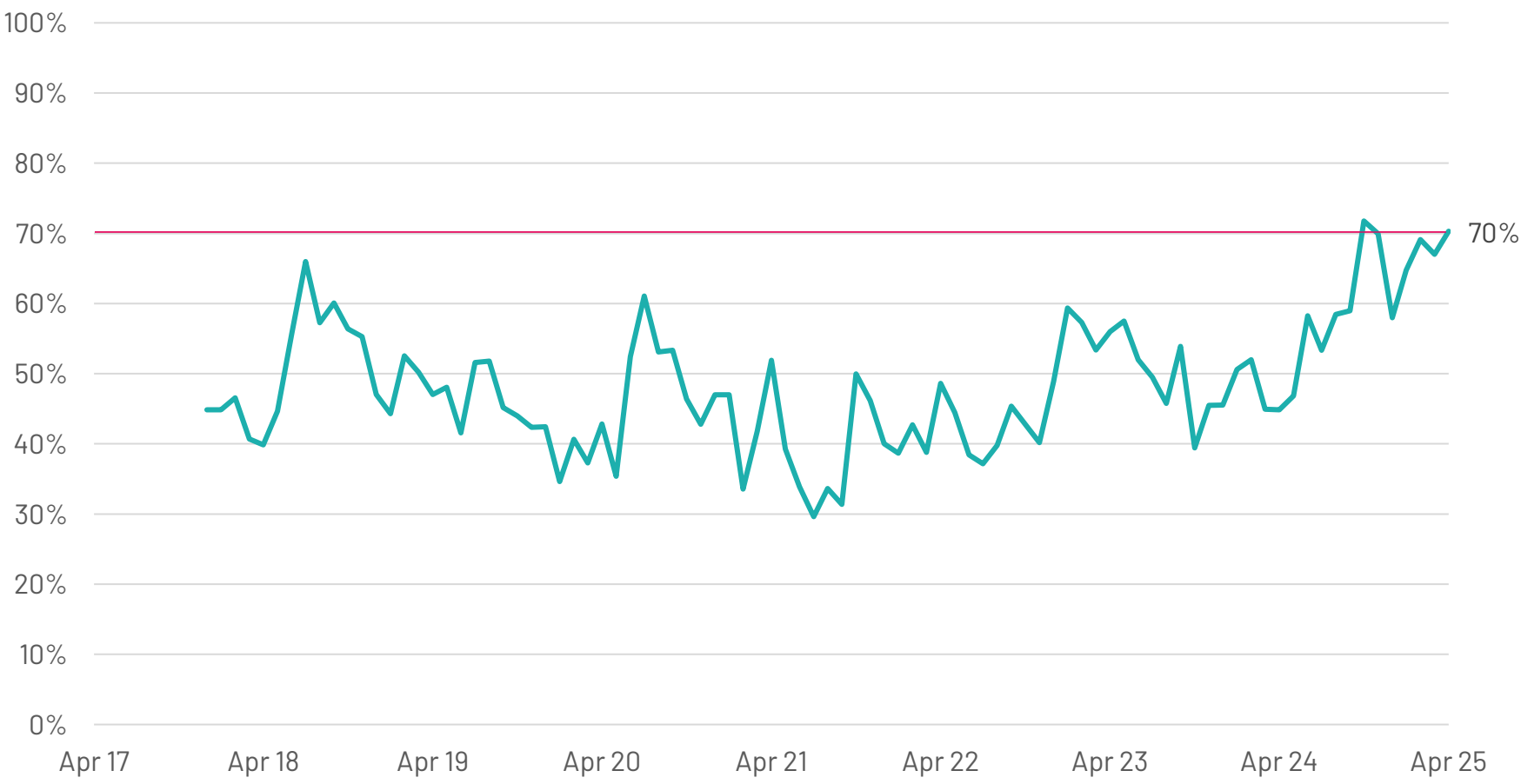
%「とても良い」または「やや良い」

マレーシアは、当社の調査において前年比最大の増加を記録し、2024年4月から25ポイント増加しました。

対象: 29か国の16歳から74歳までの25,219人の代表サンプル、2025年3月21日～2025年4月4日。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

Q: 自国の現在の経済状況を表現するとしたら、当てはまるものはどれですか。



現在の経済状況

韓国

%「とても良い」または「やや良い」

韓国の好景気スコアは先月から3ポイント低下し、過去最低を記録しています。

対象: 29か国の16歳から74歳までの25,219人の代表サンプル、2025年3月21日～2025年4月4日。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

Q: 自国の現在の経済状況を表現するとしたら、当てはまるものはどれですか。



現在の経済状況

スペイン

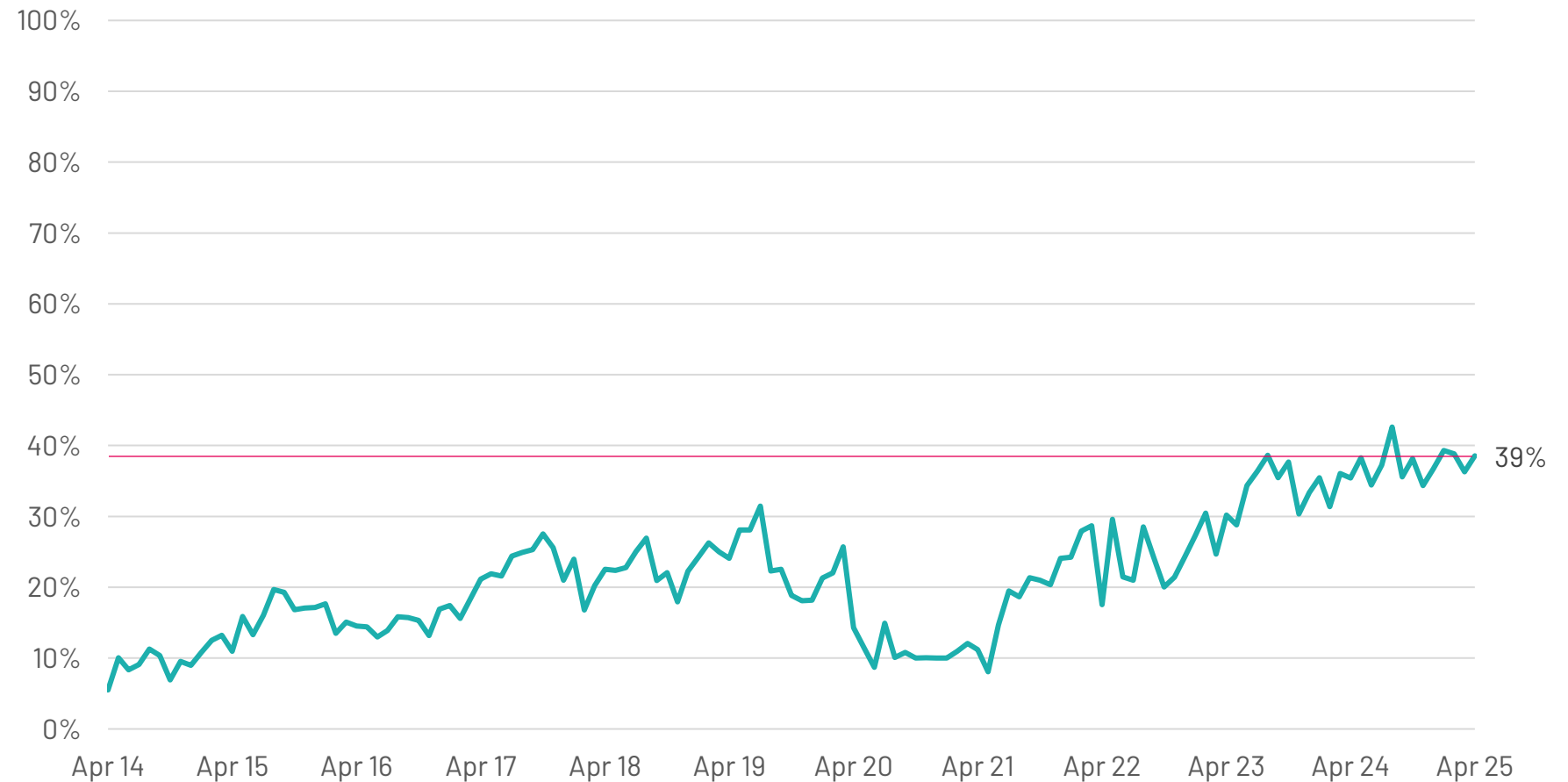
%「とても良い」または「やや良い」

スペインの好景気スコアは、COVID-19 パンデミックの終息以来、ゆっくりと上昇しており、生活費危機の兆候はほとんど見られません。

対象: 29か国の16歳から74歳までの25,219人の代表サンプル、2025年3月21日～2025年4月4日。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

Q: 自国の現在の経済状況を表現するとしたら、当てはまるものはどれですか。



現在の経済状況

米国

%「とても良い」または「やや良い」

米国の経済に対する認識は過去12か月間でほとんど変わっていません。

対象: 29か国の16歳から74歳までの25,219人の代表サンプル、2025年3月21日～2025年4月4日。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

Q: 自国の現在の経済状況を表現するとしたら、当てはまるものはどれですか。



調査手法

この29か国グローバルアドバイザー調査は、イプソスオンラインパネルシステムを通じて、カナダ、イスラエル、マレーシア、南アフリカ、トルコ、米国では18～74歳、インドネシアとタイでは20～74歳、シンガポールでは21～74歳、その他の国では16～74歳までの成人25,231人を対象に実施されました。

「世界各国平均」は、調査が実施されたすべての国における平均的な結果を反映しています。これは各国の人口規模に合わせて調整されておらず、全体的な結果を示すことを意図したものではありません。

サンプルは、オーストラリア、ベルギー、ブラジル、カナダ、フランス、ドイツ、英国、イタリア、日本、スペイン、スウェーデン、米国の各国で約1,000人以上、アルゼンチン、チリ、コロンビア、ハンガリー、インドネシア、イスラエル、マレーシア、メキシコ、オランダ、ペルー、ポーランド、シンガポール、南アフリカ、韓国、タイ、トルコの各国で約500人以上で構成されています。

インドのサンプルは約2,200人で構成され、そのうち約1,800人が対面でインタビューを受け、400人がオンラインでインタビューを受けました。

アルゼンチン、オーストラリア、ベルギー、カナダ、フランス、ドイツ、英国、ハンガリー、イタリア、日本、オランダ、ポーランド、韓国、スペイン、スウェーデン、米国のサンプルは、これらの国の75歳未満の一般成人人口の代表として考えることができます。

ブラジル、チリ、コロンビア、インド、インドネシア、マレーシア、メキシコ、ペルー、シンガポール、南アフリカ、タイ、トルコのサンプルは、一般人口よりも都市部に住み、教育水準が高く、裕福です。これらの市場の調査結果は、これらの人口の中でもより「コネクテッド」な層の意見を反映しているものと見なすべきです。

インドのサンプルは、都市部の人口の大部分、つまり大都市圏の社会経済階級A、B、C、および全4ゾーンのティア1-3の都市の階級を表しています。

人口統計のバランスを取り、サンプルの構成が最

新の国勢調査データによる成人人口の構成を反映するようにするために、重み付けが採用されています。

イプソスのオンライン世論調査の精度は、信頼区間を使用して計算され、1,000件の世論調査では ± 3.5 パーセントポイントの精度、500件の世論調査では ± 5.0 パーセントポイントの精度となります。イプソスによる信頼区間の使用に関する詳細については、イプソスのウェブサイトをご覧ください。

結果の合計が100にならない場合、または「差」が実際より ± 1 多い/少ないように見える場合は、四捨五入、複数回答、または「わからない」または未回答の回答の除外が原因である可能性があります。

これらの調査結果の公表は現地の規則および規制に従って行われます。



THANK YOU

CONTACT:

Teodros.Gebrekal@ipsos.com

VISIT:

ipsos.com